#### 意見内容

番号

平成22年4月に策定されました第5次草津市総合計画では、「出会いが織りなすふるさと、元気とうるおいのあるまち草津」をキャッチフレーズに都市が目指す 方向が示されています。 このたび、旧草津川においては、昨年来、草津川廃川敷地土地活用検討委員会が設置され、この検討案によりますと旧草津川の草津 市域にある長さ約7kmを6つの区間に区分して構想をされています。

その中でとりわけ注視いたしますのは、川幅が最も狭い区間⑤のJR琵琶湖線から国道一号線の間の川床利用計画案です。

ニの内容の概略では、土堤を残した状態で川床に幅員8mの二車線道路を作り、その道路と並行した形で幅員13mの緑地帯を設ける計画となっています。 私は、旧草津川をかつての天井川という歴史的遺産としても草津市固有の地域資源にあるという観点に立ち、また、区間⑤は草津市の中心市街地に位置して いることから、今回の改修により、川床では市民に安らぎと憩いのある生きがいの持てる広場となり、そのことにより、中心市街地には人々の往来がもたらされる よう計画するべきものと考えています。

例年、桜の咲く季節には多くの人々が旧草津川に魅了され、桜の華やかさににぎわう光景に多くの市民が遭遇されているのではないでしょうか。

そのような景観をもたらしてくれる旧草津川の地域力を活用して、「緑」をまちづくりの主体にした空間づくりで中心市街地の活性化を目指し、JR草津駅から歩い て約5分という地のりを活かした観光の拠点として、草津市の魅力を全国にも発信していくことができる可能性に集中して推進すべきだと考慮しております。

今年1月に草津市都市計画課主管で開催されました景観セミナーの他事例にありましたように、公共事業による景観破壊がおこりうることも危惧されます。 また、同時期に草津市で開催された別のセミナー内容と考え合わせても、生産年齢人口の減少と高齢者人口増の社会に移り変わる時代過程で、車、優先社会 の風潮から、人々が歩いて集い憩いのあるまちづくりという視点が優先的な選択肢だと判断しております。

旧草津川の土堤が、毎日のmyウォーキングコースとなり8.5年あまりの時間の中で、区間⑤において、都市全体の魅力を高めるという景観づくりを基本に、コ ンクリートの道路作りよりも「花と緑と水」をテーマに集中した心地よい空間づくりを見つめております。

#### 草津川跡地利用基本構想(案)について

天井川は草津の歴史です。度々の洪水での苦い経験のある一方、山田のように肥沃な土地をいただき潤っています。

この構想を作る前に、以前NHKで製作放映されたビデオを見られた方があるでしょうか。地理的に高い価値のある、世界遺産に匹敵するものだと思っています。 是非見てください。見てから始めてください。これからのまちづくりは金太郎飴的などこにでもあるものであってはなりません。

|街の中心にある長くて広いグリーンベルト、これを作ろうと思っても簡単に作れるものでありません。利便性を優先して、切りきざんでしまっては、価値がなくなっ

アイデアひとつで誰もが何処からでも活用できます。他地の来訪者はJRのトンネル、国道1号線のトンネルを見ていただくだけで驚嘆されます。国道1号線上の きりくずしは、これだけで天井川の価値が半減します。現在の渋滞緩和にはあまり役立つとは思えません。上の通りぬけ道路を生かした樹木の景観と、何である |かの表示で渋滞の人々に知っていただく価値を認めていただきたいと思います。あの川床に度々集まって、市民みんなで時間をかけて楽しみながら、考えましょ う。未来に悔いを残さない為に。アイデアも資金も労力もみんなで出し合ってみんなでつくる。新しいまちづくりをしようではありませんか。

例えばこんな催物を、(雨天中止)

3月 春を探そう (第2日 湖岸まで 第4日 桐生まで

4月 春の芽生え、花を探そう

第4宿場まつり

|5月| 野草を食べてみよう

6月 生きもの探し、虫、鳥

7月 湖岸からの眺めを絵に、(指導者、スタッフ

9時、回転駐車場出発 12時解散 湖岸を景色を眺めながら、話し合う テーマを決めて 天井川の洪水 ビニールハウスの誕生 下笠城、山田城

天井川の地理的価値

|私は大路区リーデンスタワー111に住んでいるものです。草津川の跡地利用は、是非とも道路を作っていただきたくよろしくお願いします。なぜならば国道から琵 琶湖側に抜ける道は駅下を抜ける道と、草津電機を曲がって立木神社横を行く道しかなく駅下を抜ける道にはアヤハ跡地に出来ている商業施設で道は渋滞し、 草津電機を曲がって立木神社横を行く道も、近年商業施設が立ち並び渋滞しております。また桜の名所で公園を作ってもらいたいという意見もあるようですが桜 |の花見時には違法駐車や花見後のゴミのポイ捨てと、倫理観の無い者が多く大変困っております。基本構想では真ん中の道路を通すとなっており、車からの目 があれば倫理観の無いおこないをする者も減り交通もスムーズとなり交通安全対策もされており、素晴らしい構想であると喜んでおります。計画を進めてくださ

い。 30代3人の子供を持つ親より

意見公募がありましたので、連絡します。

基本構想 ● 琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸(歴史・景観)

- 防災機能(都市の防災機能強化)
- 交通機能(車道)
- 各区間ごとの基本方針

意見・・・基本構想はその通りだと思います。しかし優先順位が問題です。

①大路地区はマンションが多く、大災害時には第二小学校に大路地区の人が全て収容出来ないと思います。その時の代替地を考えれば、防災機能を優先し て、設定すべきと思います。

②どの区間も防災機能と緑軸とを優先して考慮すべきと思います。

草津市広報(2/15付)に草津川跡地利用基本構想(案)について

③くれぐれも、交通機能(車道)は優先事項ではありません。

以上

該当箇所 頁70・71・72

区間5について

| 旧草津川の沿川に住む者にとって(草津市民)この草津川で南北が分断され、街の発展にとって阻害されてきた。この川が取れる事は街の発展に大きな力が| 出ると思う。

処が川底に道路を通すとはもっての外である。

特にこの区間5は、街中に残された唯一の公共の場所である。高齢化する世の中特に20~30年後は草津の高齢化率は最も他の市町村より高くなると言われ ている。

子どもも老いたる者もゆっくり、出来る場又天井川の歴史的な堤防として全国に発信できる様な場所にすべきである。

道路は不要である。

意 見 内 容	番号
項目 4-3 頁 72 「琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸」とする基本構想、またP58 4-3以下、2)区間2および3)区間3のように、堤防に盛り土をしてあるいは堤防を切り崩して、緑の 区間、利用できる区間が増えることについては、市民の憩いの場所が増えることになるので賛成しますが、P72の5)区間5の断面図 I - I'のように、緑の区間 というよりも道路をつけることがメインの目的であるかのように感じざるをえない利用方法については、「緑軸」という基本構想に反するものであり、市街地での交 通量増加に伴う空気汚染や騒音等の悪影響が大きいと思われることから、断固反対します。	6
わたしは平成元年に東京から草津へ引っ越して草津川に魅了されました。草津温泉の上にのぼっての夕日がとてもきれい。わたしの意見はここの川があったと いうことの証明に一筋のさらさらした流れを残してほしいということ。噴水などもあってもいいと思います。	7
草津市の広報に草津川跡地利用構想についてパブリックコメント募集のページがありましたが、よく分からないまま過ぎていたところ、この草案から描いた図面を 見る機会があり、この跡地には大きな道路がつくのを知って驚いています。広報では緑軸などという言葉で説明されていましたが、このような車道になることは分 かりませんでした。また、費用とその効果についての説明もありません。それも締め切り間近になってとはひどいと思います。われわれ市民が納得できるように広 報がなされるべきと考えます。 私は植物については詳しくありませんが、ここでキクイモ、ルコウソウの大きな群落、ツリガネニンジンの可憐な花を見たことがあります。現在問題になっている生 物多様性を損なうおそれはありませんでしょうか。虫や雑草などはどうでもいいということではないと思います。この面でも調査されることを望みます。草津の空が 排気ガスで汚れるのはまことに残念です。さらなる検討を希望します。	
小生は7年前に広島より、本籍共々移住して来た69才の無職のものです。 首記の件 市の広報、及び検討委員の○○氏よりのチラシで知りましたので、小生の意見を以下述べさせていただきます。 1. 結論 草津川跡地の「道路」の計画は「再考すべき」です。 2. 背景 少子高齢化、デフレ、温暖化、税収の減収等々より、高額の予算を使い、時間を掛けてやるより他にすべき事が多く有るのではないでしょうか。 3. 小生の意見 1) TOWER・111 自治会のシニアクラブでは毎年、桜のお花見を行っています。 他にも大勢の市民がお花見を楽しんでおられます。 これらが不可能になるのではないでしょうか。 2) JRより東では公園が無く、唯一縁あふれる場所として、残すべきと思います 小生もたまにですが、サイクリング、散歩に利用しています。 その折見掛けるのは、シニアのグランドゴルフ、子供のキャッチボール、テニスの練習、ジョギング、散歩、犬の散歩等色んな方が大勢利用されています。 3) R1〜JR間利用法の提案 * グランドゴルフ、ゲートボール場の整備 * お花畑として市民に貸し出す * 野菜菜園として市民に貸し出す * 野菜菜園として市民に貸し出す * 植物園的に木、花を植える 4) 草津市のイメージは東海道53次の宿場町と天井川でした。 特に天井川は小学校の教科書で習った記憶があります。 特にR1のトンネルはここを通る度に思い出します。 歴史的な意味ある物を大切にしたいものです。 歴史的な意味ある物を大切にしたいものです。	9
今回作成された跡地利用基本構想案の基本方針(区間ごとの基本方針)は非常に立派な構想となっており、完成した際は、草津市民にとってすばらしい歴史遺産と、緑の空間の両立を期待できるものとなるように一見思われますが、賛成しかねる問題点を感じましたので、パブリック・コメントを作成し、提出致します。ご検討下さい。 賛成できない問題点 この構想では、大前提として旧草津川の堤防内の川床に自動車道路を新設したうえで、区間ごとに緑の創出を行なうという計画になっています。しかし、この計画案は、現在検討されている、第2次草津市環境基本計画案の「うるおい豊かな環境づくり、公園・緑地の整備とまちなみ緑化の推進」や、本計画の「緑の創出」と相反する計画ではないでしょうか。 旧草津川堤防は、現在市民が僅かな緑に親しみながら、散歩やジョギングをしたり、自然観察をしたり、桜の咲くときには、いろいろなグループで宴を開き親睦を深めたりして有効に利用する大切な場所です。また、特に、区間⑤では子供たちが最近整地された川床で、キャッチボールやサッカー等の球技を楽しんでいる姿をたびたび見ます。公園が無く緑が少なく、身体を使って遊べる場所が少ない草津駅周辺の住民、特に大路地区の子供たちにとっては、貴重な場所です。本計画が実行され、堤防内を自動車道が通るようになると、現在散歩やジョギングや自然観察や花見等で有効に楽しんでいるこの場所は、自動車の騒音、排気ガス、交通安全面等から、全く不適切な場所となってしまいます。足元を自動車が走るすぐ側では散歩やジョギングや花見等を楽しむことは出来ません。もちろん、キャッチボールやサッカー等の球技を楽しむことはまいます。 今後一段と高齢化が進んだ社会を迎えるに当たり、草津川跡地は、草津市に残された貴重な緑地と身体を使える遊び場の大切な場所です。また、市財政を考慮しても、無駄な道路に貴重な税金を浪費することは止めるべきです。 堤防内に自動車道を作る計画は白紙にもどし、堤防内も住民が自由に立ち入ることが出来る場所(可能なかぎり緑地化)、すなわち、市民の集いの場を作ることを強く希望します。	10
草津川区間NO. 5について 先日、市民センターで閲覧してきて、ガッカリしました。この大路学区東の方では、ネコのひたい程の公園も緑も、まったくといっていい程ありません!あるのは、 草津川の堤のみです。ここに道路を走らす…。もっての外、大路区の市民にとっては無用のものです。幼児にも児童にも、障害者にも、高齢者にも、一般人にも …。一番ほしいのは、こんにちまで、なかった大路の最後の場所、憩いの広場です!この場所を失うともう二度と何十年先まで、緑を取り戻せないでしょう…!絶 対に道を付けないで下さい!!! この川巾に道が出来たら子どもがボール遊びをしても、高いフェンスを張って、それを防がなければならないでしょう…。そんな中で住民皆んなが心をホットさせ、 花を見たり、いい空気を吹ったり、どうして出来るんでしょう。	1

#### ③音目仝立「昔津川跡地利田其太楼相(家)に対するパブリックコメント提出音目)

意見> 間⑤について、道路をつけることには反対です。
前⑤について、追路をつけることには反対です。 D区間については、道路はつけず、公園としての活用を強く希望いたします。
歳の子供がいる母です。 がく歩き始めた子供を公園に連れて行こうとしても、駅東側にはなく、いつも地下道を通り、西側のマンション内にある公園まで連れて行っています。 子供がきて初めて、この状況に気付きました。 土の上で歩く喜びを感じて欲しくても、近くに場所がないのです。 、区間⑤に道路と公園の両方ができたとしても、すぐそばに車が走る場所で、子供を安心して遊ばせることができません。 共が好きなボール遊びなど、危険な状態で遊ばせることになってしまいます。 と、この区間⑤は、駅から唯一、徒歩で気軽にいけるゾーンです。 書本陣など、観光客にきてもらえる場所です。 園があっても、すぐ横に車が走っているその場所で、お弁当を広げる気持ちになるでしょうか。 は、大規模な公園は、そのまちの「豊かさ」「誠実さ」を表現できる手段だと思います。 こ言えば、整備された公園の有無は、"まちの豊かさ・誠実さ"を判断されてしまう大きなポイントになると思います。 聿に住んでいる人だけでなく、草津に観光で訪れた方にも、このまちは誠実だね、素敵だね、と思ってもらえる、そんなまちになってほしいのです。 間⑤に道路が建設されず、公園になることを強く願っております。
8区間④ 間活用検討エリア しい住空間モデルの創造などを検討する計画となっているが、モデルを創る効果は、特定の住民など限定的と考える。 聿市民にどれだけ効果を及ぼすのかによって検討すべきではないでしょうか。 間活力の導入 の土地を、スポーツ広場エリアの拡大に利用することを提案いたします。 ポーツ健康都市くさつ」を目指すためにも、市民が各種公式競技を見る、広くスポーツをするためにも長期的な目で検討をお願いしたい。 ポーツの意義は、スポーツ立国戦略(文科省)にも詳述されているが、草津市、草津市民にとって計り知れない効果をもたらすものと思っています。
年2月15日の広報における基本方針に示されている、景観、防災、車道の趣旨は理解しました。
かし、各区間の基本方針のうち区間5の土地利用の基本構想については、以下の理由から賛同できません。 基本方針の三要素である景観、防災、車道を可能な限り実現するためには、現在の堤体を2~4メートル程度下げる必要があります。 現在の草津川廃川を横切る車道及び堤体を利用する車道と基本構想における車道との関係が不明であります。これら既存の車道との連絡を図ることによ 現在の草津川廃川を横切る車道及び堤体を利用する車道と基本構想における車道との関係が不明であります。これら既存の車道との連絡を図ることによ 地域住民の理解を得るとともに、草津川跡地の合理的な有効利用を図る必要があります。 上記1、2を踏まえ、さらに、安全性、利用区域の拡大等から車道とその他の利用区域(自転車道、歩道、緑地等)を1~4メートル程度の高低差で区別する必 があります。 上のことを断面図で模式図的に示せば別図のとおりです。 れにより、現在の構想に比較して、車道以外の利用エリアの格段の面積の拡大、安全性の確保等多くの問題の解決に近づくのではないかと考えます。
間⑤について質問と提案。 車道建設案は廃案に 市民癒しの場こそ一義。 関緊の政治課題と取り組む。 づくりでお金の使い方が違うと思う時が多い。例えば地方では道路が欲しいという声が多いですが、道路をつくりたがるのは、智恵が要らないからですよね。 つと隠れたものを見つけて発信する努力が必要だと思います。」 一前、〇〇氏(大阪大学教授)が新聞紙上で述べたコメントです。  尋ねします: そもそもこの様に本格的な車道はびわ湖空港へのアクセスを意識して発議されたのではなかったのか。空港建設は廃案となった今この道路は本当に必要な かい。 国道から早いスピードで流入する車から緑を楽しむ人の安全をどう確保するのか。 (国道から早いスピードで流入する車から緑を楽しむ人の安全をどう確保するのか。 を険と隣り合わせとなり子供たちのささやかなスポーツ広場の機能が消えるがそれでいいのか。 、

意 見 内 容	番号
私は数年前まで大路地区に住んでいました。 区間⑤として計画されている道路の所は、当時唯一子どもをつれてゆっくりできる場所でした。子どもが小さい時にはベビーカーを押して散歩し子どもが少し大きくなるとひいおばあさんの車椅子を子どもと一緒に押して桜を見ながら歩いた思い出の場所です。 その場所に、たった8mほどしかない道路をつける事に意義を感じられず、賛成することができません。大路地区には子どもや高齢者が安心して憩える場があまりありません。 もし、どうしても、道路を…ということであれば、トンネルのように道路にふたをして、上に緑の広場を作るなど、もう少し考えてみてください。 道路の横ではいくら緑や広場を残しても安心して憩える場は確保できないと思います。	16
一、広報の概要を読む限り、一部分であっても道路になることは少しも読み取ることが出来ない。正しい情報を市民に提供し、パブリック・コメントを求めてほしい(地図等を入れて)再考を求める。 一、現在、東西南北道路は大体充実してきた。しかし、現状は全て通り抜け道路となりその中に住む者は、騒音、公害の中で生活に不便を期している。これ以上の通りぬけ道路を作るまちづくりは止めていただきたい。 一、これからは、子どもと、老人の社会である。車中心のまちづくりの感覚は捨ててほしい。既状の道路の車道をせばめて、自転車道、車椅子道の専用道路をつける位の感覚で市政をして頂かなければ時代錯誤も著々しい。 一、教科書で習った程の地理的価値ある天井川、草津の歴史でもある他にない大切な天井川、街中の緑の空間を草津の未来に生かすまちづくりをして下さい。一、教科書で習った程の地理的価値ある天井川、草津の歴史でもある他にない大切な天井川、街中の緑の空間を草津の未来に生かすまちづくりをして下さい。一、国道一号線、JRのトンネルがあってこそ誰にでもわかり易い天井川を残して、子ども老人社会である、街の中心、駅からも近い大切な空間を傷付けないで憩いの場、人の集える場として絶対に残して市民に使わせて下さい。お願いいたします。	17
今回広報を見てビックリしました。 旧草津川が平地化になり道路がつくなんて私たちの一般市民にはなかなか具体的に聞く機会と知らせがありません。 生まれて60年あまり又父親や年輩のひとより色々な思いや、歴史をきかされております。 今その物がななむり、思いの場がなくなるのは淋しい思いです。 本当に全市民にこのことが理解され告知していれば問題とならないが、その場所より離れた人や各団体の長しか知らされていないとか、その会に出席されている人しか考えておられないか一部の人でパブリック・コメント(案)が通れば問題とおもわれます。 通過道路で地元の繁栄、便利にはならない。 通過道路で地元の繁栄、便利にはならない。 JRの交差(運量の問題)国道の交差(信号はかりでより渋滞が考えられる)。 高低の問題・桜の木の問題・災害の一時避難所の問題・中心市街地の憩いの公園の場の問題等考えると浜の方は道でもよいが、都市部は全面公園で残すべきだ。 もつと近隣住民に聞いてから判断とパブリック・コメントを出していただきたい。 信場まつり、あかり色々と市民の広場となりつつある。 国 ⇒ 県 ⇒ 市が急がされているのか。 3月年度で成果物が急がされているのか。 3月年度で成果物が急がされているのか。 までは見いてない人が多いから。	18
まず、計画案に大反対です。 基本構想は緑、歴史、防災、交通である様ですが、交通が重点的になっております。これは、〇〇委員長の考えそのものがまるめこまれ一方的になっている様にしか見えません。どこまで地域の事を考えておられるか…?疑問です。莫大な税金がつかわれる事業。もっともっと熟慮する必要がある様に思います。又、地域の住民との接点がないまま計画されている様に感じます。特に国道1号線からJR線の間に置いては歴史ある天井川、桜並木、緑をもっと大切にし、これからの子供達を含め、緑のある憩いの場所として残していく必要があるのではないでしょうか?子供達がまわりを気にせず遊んで学べる場所にと願うばかりです。これからは、区間ごと地域の住民と話し合いが重要ではないでしょうか?地域からはなれている委員の方々と地域住民との考えに温度差が感じられてしかたがありません。再考を期待します。	19
P70 旧草津川は私の小さい時から、桜の名所として色んな所からこの草津川に花見に来られ、その川の中で色んな催しが行われ、楽しみの場所である。 堤を残すのは良いが、川底に道路を通すのは反対です。 もっと、緑やいろんな催しができる場所にすべきである。	20

③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕	
意見内容	番号
まず企画調整課に対する、このパブリックコメントの取り方についての意見 1. 利活見表見会・ワークショップの結論が反映されていない	
当検討委員会を立ち上げる前に市で行った、利活用委員会及びワークショップでの総合意見や提案事項についてはどのように生かされたのか 2. 募集期間が短かすぎる	
2/1 5付け広報で当パブリック・コメントを3/1 6締め切り、一ヶ月の期間で募集しているが、その期間が短かすぎて充分意見が集まらないのではないか 3. 広報での発表内容は不透明に過ぎる	
当広報での発表内容は表現があいまいで、大事な点が分らない。私は常日頃から、草津川の活用について大きな関心を持っているが、その私がこの広報の 文面からは、重大な決定事項がなされていることに気付かなかった。何故このような不十分な発表内容にしたのか、その理由を聞きたい パブリックコメント:当案が草津川の川床に8メートルの車道を通すものであり、そしてそれは区間⑤の歴史・公園区間をも除くものではないということを、ひとから 教えて頂いて初めて知ったが、それに対する意見 1.草津川は地理学上からも全国レベルの有名な川	
草津川はかつて地理の教科書に載るほど全国的にも珍しい天井川としての遺産であるから、その形状はみだりに崩すべきでない。 2.草津川は日本史上でも稀有な天井川	
草津川は、藤原宮や奈良の東大寺建設のとき、上流の田名上山から大量の杉檜が切り出され、宇治川・木津川を筏に組んで運び出されたために、出来た天井川である。このことは日本の代表的な国民歌集である万葉集の巻Iに出ていて証明されている。このように日本の歴史上重要な天井川・草津川は草津が天から恵まれた宝であり、大切な歴史遺産である。	
この生かし方は、単に草津市民の便利さの為だけでなく全国の人々が納得するものでなくてはならない。50年100年の将来のために、もっとよく考えるべきである。 3.草津川は観光的にも重要なポイント	
3.早年川は観光的にも宝安なパインド 草津の産業を将来的に見た場合、日本の真中にある立地や、交通の要衝という点などから、観光やコンベンション(集会・会議)が非常に有望であるということは、誰しもが認めるところであるが、そのとき、街道・宿場・本陣・常善寺・芦浦観音寺・烏丸半島などと共に、中山道・東海道の草津川の渡しや草津川そのものも欠くこととは出来ないのであり、区間⑤⑥は絶対に車道など造ってはならない。 4.草津川の生かし方は草津市民の知恵の示しどころ	21
これからの観光は単にきらびやかな神社や仏閣などを観に来るのでなく、会議や集会をやるときにその土地の歴史や自然や街を見て、その土地を理解し、そこの住む人との交流を楽しむといったものになると思われるが、そのとき、そこに住む人々が如何に自分たちの住む土地を愛し、生かし、誇りにしているかが魅力のポイントになるのである。天恵の草津川を、車道を通して台無しにするような市民ではなく、歴史遺産を大切にし、かつその持つ歴史的意義を生かしきる市民であらねばならない。 5.草津川は大都市化する草津市のオアシス	
草津は現在、人口増加の途上にあり、住宅やマンションの建設で、森・溜池・田圃などの緑や自然がどんどん無くなっていっている状態である。このようなとき、100年の都市計画の観点からも、天恵の草津川を道路で潰すのでなく、上流の森、下流のビオトープなどを含む、全国初の緑の川にしてはどうか。 6.草津川の区間⑤⑥は現在もすでに観光スポットであり市民の集いの場所	
特に区間⑤や⑥は、現在も"中山道草津の渡し"や"天井川の万灯灯(あか)り"で、草津の名所・名物になりつつあり、宿場祭りでは"天井川舞台"にもなろうとしている場所であり、日頃から集会や子供の安心して遊べる場所として最適の地域である。車道を造るなど、大方の市民を嘆かせるようなことは考えないでもらいたい。	
◎高齢化社会への街づくり 今後の高齢化に向け、住んでいる街が四方八方道路になれば、確かに利便性を考えれば、道路建設も有りきかと思うが、もしそうなれば、我々住民の生活は 騒音等でおびやかされるのは、目に見えている。安心して暮らせる街、安心して街を歩けるということが非常に重要になって来ると思う。 よって、この地に居を構える表として、到底賛成出来るものではない。断固として反対である。	
◎歴史的重要な場所の再認識 歴史的に見ても、東海道の宿場町として全国区の知名度を誇るこの街を官民一体となってもっと話し合いの場を設けて、より多くの住民に関心を持ってもらい、 緑色の映える苗木を用いて、一人一本の植樹運動とかとにかく、もっと、この地区の住民に関心を持ってもらわないといけないのではないか。	22
区間⑤の計画について 駅の近くにある緑地を大切に保存するべきだと思います。	
車道を通す案もあると聞いて驚きました、時代に逆行していると思います、地球を大切に、環境にやさしく、エコ等々いわれています。 駅に近く、高層マンションも立ち、人口も増えていくと思います。子どもたちもたくさん育っていくでしょう。 その近くに、せっかく大きい緑地があるのですから、近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校などの参加も得て、里山、ビオトープをつくっていくなどしたら	
いいと思います。 池も作り、めだかが泳ぎ、トンボが飛び、などしたらどれだけいいでしょう。草津市のアオバナも植えたりとか。	23
人間には緑、花が必要です。駅近くの大切な緑地を守っていくような計画をお願いします。	
草津川跡地利用基本構想案が道路を(車両交通)軸とした考え方は反対であり、有数の天井川の原型をもっと忠実に遺してほしい。 ・野外のイベント会場や環境の良い広域な公園機能を作ってほしい。	
・貴重な場所に車の通る道路をつくる事は絶対に反対です。 計画は再考して下さい。 (特に⑤区間を)	24
(付に少位間で)	

番号

私は現在草津市観光ボランティアガイドとして市内外の方々、特に草津市を訪れた観光客、歴史を学んでいらっしゃる方々を熱意と情熱で案内して居ります。数年前までは、旧草津川(天井川)の案内はむずかしく、される方々もなかなか判りづらかったと思いますが、ここ1~2年前に、渡し場跡を再現して頂いたおかげで、日本五大官道の中、中山道・東海道について、非常に判り易く説明(案内)させて頂く様になり、草津市の今昔物語の一端を懸命に案内する事に生き甲斐を覚えて居ります。これが、車道になると、案内は全く出来ません。味気なくなる事は勿論、市民の健康(排気ガス等々)に甚大なる悪影響を及ぼす事は明白です。歴史ある草津市を市内外に対しもっともっと強力に案内して現在の長浜、彦根、近江八幡のように知名度を高めたいです。車道は絶対に作らないで下さい!!お願いします。本当にお願いします。

25

みちサポーターグループ名は、○○です。職業は○○の○○です。

旧草津川の野村グラウンド近くの美化活動が基本のみちサポーター制度を知った時、草刈と花壇の管理、道の情報提供のボランティアでまちづくりが出来ないかと想ったのが始めです。その公園は市と地元の市民と協働で作られたそうです。みちサポーターの継続も大切なことですが、多くの方が手軽にボランティア活動が出来ればと想いました。その公園を観たとき、しだれ桜や芝生があり、単純に円山公園や音楽堂を想像しました。草津駅近くにこんな公園があること知って頂きたかった。花壇に花は普通ですが、花にも土作りと水も必要でいろいろとを考えていくと、協働の仕組みも知り水の確保を行政に頼みました。

草刈りは広い範囲ではかなり大変な作業です。やぎの特性を生かした共同作業もおもしろいなあと想い近くに住む友人、知人に早速話したら現在16名集まりました。仲間には、町の花屋さん、生け花教室の先生、生徒さん、ピアノの先生、整骨院の先生、野菜作りの名人、産婦人科の先生、エレキギター演奏者、魚つりのプロ、行政の職員、コックなど蛇の嫌いな〇〇さんもいます。具体的な活動として、草刈りをボランティアの入り口として一人でも多くの方が楽しんで頂けるようなちょっと気になるふれあい公園にしたいです。草刈りした後に、お疲れ様イベントが出来ればと想っています。

花壇に花が咲けば・生け花教室、

桜が咲けば…音楽会…電源が未定

隣人祭り的な花見ランチ会

食育的な講座・・家計にやさしい、エコ料理教室

家庭ゴミで土づくり・・小さなエコ活動

そんな活動が草津まちづくりの小さな点になり、線になり道になればいいなあと想っています。夢を現実にするのも人間の力です。行政と市民に期待します。 花壇の管理には、水の確保が必要なので市は去年水ポンプ(手動式)設置しました。

出来た時はなつかしさを感じました。草津は昔から地下水はかなけで濾過が必要であり、井戸端に小屋はやすらぎがあるこんな夢も見ました。

井戸端に小屋が出来て、人達のふれあいの場になる丘でした。旧草津川に道を掛け開いた意味としての交流とふれあいに近寄る公園になる場所(区間)です。 希望として、水ポンプ小屋がほしい

井戸に屋根が出来れば、自然と人のふれあい場所・・ライフ)

(目と目が合ったつぶやきの出来る場所)

(暑い時の休憩、井戸端会議、散歩中の雨宿り・・・・・)

(有識者のボランティアを集めて、いろんな話しに対応する)

(リアルなツィッターが堤防に出来る)

旧草律川をどのような状態にすべきだと思いますか・・・にあてはまる事項(区間①~⑥)を区間④の市民ガーデンでモデルハウス的というか・・実験的に草刈りの 辛さとイベントのたのしさで魅力ある市民のまちづくりに参加する機会を企画してほしいです。

例えば、市民ガーデンに電源がなければ(ギター演奏・電気オルガン)

市民の方に気軽な気分で草刈りをしてボランティア活動の入り口となり緑の美化になり、そのあとに音楽会はどうですか

辛い草刈りには、みんなでするのが良いが、やぎはもくもくと草を食べる特性を生かしやぎの力を借り共同してはいかがなものでしょうか、しかし やぎはやさしく草を食べている時は良いが、動物と人との安全・安心の確保が必要な時代です 動物と共同作業の手本があればいいのだが、

②の農園にぶどう畑にしてはどうですか 草津ワインと近江牛で赤ワインソースが出来そうです・・・そんな草津ソースで青空レストランはどうですか

(シェフとしては・・・草津のホテルから料理のオリンピックに出たシェフは?・調理師・料理の好きな人で登録制にしてランチはどうですか区間⑤)

(連携と協働による緑の創出)区間⑥

(やぎと共同による緑の創出)区間は①~⑥

(鶏も入れたいが、鶏インフルエンザがある中止)

(野菜として、エシャロットを作って欲しい)エシャロットは、ほとんど外国産です。国産は数少ないです。 (フランス料理には、ソースに使う)

(世の中では、まねはいけないが彦根の方で国産の木いちご(ラズベリー)を作っている・・国産は少ない。 (場所が適しているか、見てもらう価値はある)

食に関する食育の草津川ラインも出来ます

手作りベンチを作ろう 老朽の桜の木を使う マイベンチを有志で募集して設置している・・・東京都(写真掲載あり)

意見内容	番号
交通機能(車道) 「東西の移動性を高め」とあるが、国道からの車の流入は環境に優しい道づくりではない。現在ある「サクラ並木」も継承するとされているが、大量の車の流入が 予想されるような場所に「緑」を感じられるとは思わない。「道」をつくるのであれば遊歩道等の人のいこいの場となり得る形を計画してもらいたい。 歴史を大切にし、今あるものを活かしていくのであれば、人が「居れる」場所の創造をお願いします。	27
草津川跡地利用は非常に難しい問題だと思います。 確かに道路も必要ですが、地元住民としては歴史的エリア(JR〜R1)だけは道路を通すことは見直して欲しいと思います。観光駐車場もあり、全国的にも珍しい 天井川をどうして無くしてしまうのですか?JR〜R1までの区間5は緑と観光の住民がつどえる場所にして下さい。大路地区にはそのような場所がありません。お 願いします。	28
近江草津と言えば天井川と今昔にも言われて来ました。草津の名物です。大路地区には公園もなく天井川へ上がれば桜並木を、また、夜桜を楽しみにと…。 大路地区の人たちの楽しみを残して下さい。 私は六十年間大路に過ごさせて頂きました。 老人の願いを聞き入れていただきます様に筆を取りました。 宜しくお願いいたします。 子孫の憩いの場所を残して下さい。 八十二歳の老人より	29
パブリック・コメントについては、①内容、期間が余りに短く広報においても、利点、不利点が明記されていない。②工事期間並びに総工事費用の内訳が記載されていない。③公民館にて図面は見たが、高齢者などにも解る様にもっとくわしく図面構想(案)を色々な場所に設置してほしい。④草津駅前においてはやすらぎとなる緑地公園の代用として天井川の桜並木があり、春は桜見物、夏は木々茂る道として高層マンションの市民の憩いの場所とし、高層マンションからの景観の魅力、四季折々の散歩道として車道と別に老若男女が車を気にすることなく、マラソンや散歩など、心のやすらぎが出来る場所として、又、寸断されたとは言え歴史上めずらしい天井川と言う物を残して頂きたい。章津市の遺産であり、後世に残していきたいと思う。ただただ、道路事情の緩和のみだけに遺産である天井川の良さをいぶないでほしい。道路にしてしまうとスモッグ、騒音問題、交通事故の増大など後に残る問題の方が多い。子ども達が近年、情緒不安定であると言われる事が多い時節柄にあえて天井川という情緒のある場所を失う事は、絶対にするべき事ではない。各町内にまたがり天井川の果す役割は、総大である。本陣もあり、宿場町として特色を全面出した形の町作り(例)長浜黒壁、彦根城の特色をいかした町作りなど…。古き良き物を残しつつゆとりのある町作りをしていただきたい。日本人が外国の古き良き街並みなどを旅行に出かけていくのは、余りにも日本が便利性のみを追求してきた結果にほかならない。マンション、住宅ばかりの建物ばかりが目立つ草津市よりも天井川と言う歴史的遺産である四季折々の花々の咲く子ども達、老人達などにも、やさしいそれでいて古き良き遺産をうけつぐ草津市となって頂きたい。天井川を道路にすることについては、反対である。絶対に!!	30
草津は公園が少なく緑を残してほしい。	31
基本構想の考え方が、草津川の跡地利用の範囲となっている。草津市の未来都市構想の視点が必要では、ありませんか。 ゾーンごとの考え方は、良いと思いますが、既存の商業エリア、工業エリアの現状課題の解決と発展拡大の観点が必要と思います。住民憩いの場面の視点 は、反映されているとは思いますが、経済の発展の観点が少ないと思います。	32
月6万円程度の住民税を納め家計にとって大きな負担を強いられている中で、我々に還元されることなく、この様なことに税金を投入されることは無駄遣いとしか 思えない。(名古屋並みに税金を安くして頂けるとありがたいですが…) 大きな自動車道ができるということは子どもたちにとって安心して遊べる場を失うことであり、排気ガス等により空気も汚染され、これまで住民の憩いの場として貴 重な空間だったものを失うということだと思っています。近隣住民の意見を無視したこの様な計画は即刻中止・廃棄して頂きたい。	33
2月の広報に掲載されている草津川跡地利用基本構想(案)について区間設定の第5区間について、「人と出会い、歴史を伝えるにぎわいと緑の創出」とありますが、聞くところによりますと川底に8メートルの道路を計画されているようですが、「人と出会い、歴史を伝えるにぎわいと緑の創出」と唱えながら、川底に道路を造るとはどういうことか疑問に思います。私たち地域が平成16年に当時の伊庭市長に旧河川敷に多目的広場として、利用させてほしいとの要望書を提出し、県と管理実施計画に基づき、草津川廃川敷地管理協定を結び、草刈や清掃などを実行して嘉田知事と市長と連合会長の三者で契約し利用しているところです。今回突然、川底に自動車専用の道路を造ると、われわれに何の了解もなく契約の解除もなく、市の都合だけで計画を進められることに納得できない。一度現場を見てほしい。地域の皆が、ふれあう場所として、小学校の児童がクラブ活動にスコ高齢者がグラウンドゴルフに興じている姿に接してほしい。草津川に隣接する地域の者として、あの天井川に自動車が走ることは絶対に許されません。百年も前に草津小学校の卒業生が桜を植樹し市民の憩いの場として、守り続けてこられたこの桜並木が、天井川で有名な桜並木として今に続いております。これも草津の名物の一つではないだろうか。そんな川底に車を走らすなんて地域にとって、何のメリットもなく、ただの通過道路でしかなく振動と騒音に悩まされることでしよう。しかも、今日まで何回となく廃川敷きについて市民を集めてワークショップで「こんな広場にしたい」などと話し合いがなされているが、結局は空論に終わっている。実際県の土地であり譲渡の話が進んでいるのか、我々には知る由もない。その中で市としての考えを、財政とも勘案しているのか我々には何も分からず、こんなことが机の上で独り歩きしているのかと思います。おそらく百何億の金が必要になろうと思いますが、市民はもちろん地元住民にもっと財政を含めての説明があって初めて、計画が立てられるのではないかと私の思いを市長にお伝え致しますので、賢明なご配慮をお願い申し上げます。 合掌	34

意見内容	番号
区間5の所は、大路区民、元町住民にとって、唯一自然溢れる市民の憩いの場として老若男女が共に語り、体や心をいやす所で樹木や緑を身をもって感じる場所と思っております。また、道路として整備した場合、国道1号線から信号が無いという事で大量の自家用車やトラックが流入する事となり、その周辺の桜並木のある堤防敷が市民の憩いの広場となるとは思えません。又、そうなると県道を利用して商店街に買い物をされる車が減少し中心市街地の活性化とは程遠い施策となります。天井川の堤防は砂で出来ています。車の震動で崩れないのか静かな住宅であった所が騒音で苦しまないのか、CO₂で桜の木は大丈夫なのか?町中に残された聖地です。10年後、20年後に悔いを残さない為にも国道からJRまでは道路を造らないようお願い申し上げます。合掌	35
第三章 P38 20・21行 堤防整備の方向性について 国道1号線交差部の堤防を除去することについて反対します。 天井川は草津市の貴重な歴史的景観であり、国道の上に川が存在した場所として貴重なものだと考えます。JR区間と同様、国道1号線交差区間も堤防が除去 されないことを望みます。生活に多少の不便を受け入れてでも守るべき景観として現状の交差部を残すべきであると思います。(補強が必要であれば補強工事を実施して) 全般について さまざまな跡地利用の計画を、周辺の自治会が知らないケースがあります。計画段階で少なくとも周辺の自治会が認識していることが望ましいと思います。策定 して計画の周知をお願いします。	36
草津川廃川敷地土地活用についてのパブリック・コメント 草津川廃川敷地土地活用についての意見です。 草津川廃川敷地土地活用についての資料をたまたま見る機会がありまして、この度 草津市在住の一市民の声として意見をします。 http://www.filebank.co.jp/filelink/c11638eb6e89a38a44fad4fea1d0cf38 上記のリンクを見たのですが、これでは道路を作るということが全く分かりませんでした。 市民の憩いの場を創出するのであれば高速通過道路との共生は無理なのではないでしょうか? 道路を作るのか?それとも憩いの場を作るのか?方針があいまいな気がします。 また20年後の完成予定だと書いてありましたが、20年後の草津市の人口構造は変わってきているのではないでしょうか? また20年後の完成予定だと書いてありましたが、20年後の草津市の人口構造は変わってきているのではないでしょうか? またこの道路を作ることによって草津市の一体どこのどういった所の交通状態が今の状態に対してどのように改善していくのかの調査結果の方がよくわかりません。 これも市民に分かりやすく開示していく必要があると思います。 草津のあかり祭りは去年行きましたが、大変幻想的で素晴らしいものだと思います。あの光景はこれから草津のひとつの魅力になっていくと思います。 よろしくお願いします。	37
このたびの「草津川跡地利用基本構想(案)」による意見を述べます。 区間④(大津湖南幹線~JR琵琶湖線) 区間⑤(JR琵琶湖線~国道1号線) 区間⑥(国道1号線~JR東海道新幹線) 特に区間⑤は、全国屈指の天井川でもある旧草津川であり、東海道と中山道の分岐合流点付近の天井を中心に流れていた、この川は歌川広重の浮世絵などに代表されるように、歴史的にも貴重な場所です。 基本構想(案)ではこの一帯を8mの車道にすると言う道路整備が進められているようですが、未来の子供たちの事を考えれば環境破壊にもつながる、車道は必要ないと思います。 この事は、ほとんどの市民に周知されていないため、公になった時に、問題を残すと思われます、しかるに旧草津川の原型を残すべきです。 車道は、すでに並行しているサンサン通りを整備(現状では大型バスが通れない)する事で解決されると思います。 なお、本町界隈(本町1丁目)にお住いの方々に聞いてみると、昭和40年頃から商店街がJR等で分断されていた為、国道1号線から車道を通す意見が出ていたが、時代は変わって来た、現在は考え方も変わってきているとの意見でした。 また、堤防整備の方向性の中で、区間④では堤防を除去し平地化することを基本とされているが、すでに工事が終了している大江霊仙寺線と大津湖南幹線界限は今更ながら原型を残す事は叶わない動かし難い事実です。 結論、旧天井川の原型を残してください。 車道は必要ありません、大型バス等駐車場は再検討すべきです。 以上再考をお願いします。	38
堤防を掘削して、道路等を建設することは反対です。車の排気ガス、騒音等が予想され 住環境に甚大な影響を及ぼすと考えます。このエリアは子供・高齢者も多数住んでおり、安全上の懸念も想定されます。また、混み合っている国道1号と直結すると、大型トラックなどの進入・通行が予想され、産業道路化も懸念されます。生活に必要なアクセス道路の必要性はわかりますが、現状の地形を最大限に利用したものとし、生活利用を主にしたものとすべきと考えます。無駄な税金の浪費は避けるべきです。また、天井川は歴史的価値のあるものであり、むやみにそれを破壊する開発は問題ありと考えます。税金を使って草津の美しい景観を壊すのは反対です。他に もっと高齢者や子どものために 税金を使っていただきたい。	39
この案について、希望があります。 緑の道として位置づけられる旧草津川の、せめて歴史景観地区に指定されてきた大江霊仙寺線から国道1号線越え間は、ぜひとも今の状態を維持しするだけでなく、往時の姿を彷彿とさせるように、整備していただきたいと思います。 私はボランティアガイドとして、お客様を案内していますが、堤防から見る宿場町の様子は、「浮世絵に描かれている様子がよく分かりますね」と言って頂けますし、草津川渡しの場所も、もう少し整備して頂きたいと思っています。 全国的にも珍しい市街地を貫く天井川は、かつて教科書にも掲載されたほど歴史遺産として重要な遺跡だと考えます。 全国にアピールできる歴史資源の活用として、ぜひ残すべきです。 近江八幡市の八幡掘りや、彦根城の堀も一時は埋め立てて道路をと考えられた時期がありましたが、埋めてしまえば終わりだ。決して元には戻らないと、地元の人々の熱心な努力と保存活動の結果、現在見るような形で残されました。 そして全国から多くに人が大挙して尋ねてくる、みんなに愛される場所となっています。 目先の利便性にのみ心を奪われること無く、将来、子孫に胸を張って自慢できる草津市の姿勢を示してほしいものです。 他の地域に負けずに、ぜひ草津市も全国に誇れる、そのような場所にしていただくようお願いします。	

意見内容	番号
先般、市広報により区間①~⑥までの区間ごとに利用構想の概要が示され拝見しました。その折には深く考えずに「早くこうなったら良いなぁ。高齢者や子供達の遊び場や軽い運動もできるだろうし、地城の人達が触れ合い語り合える静かで空気の綺麗な憩いの場所』となるだろうと夢を膨らましていました。ところがその後地場地城の人達の話を聞く限り、必ずしも喜んでばかり入られない。具体的にもっともっと説明を受け理解する必要があると思うようになりました。それは道路の設置が予定されており、緑と美しい景観とのかねあいに不安を持たざるを得ない気がします。花見や子どもの遊び場の直ぐ側を多くの自動車が駆け抜けることをイメージすれば、とんでもない結果となる気がしてなりません。①~⑥の区間毎だけでなく、全体像とその連携等についても良く解らない状況です。是非更なるご再考をお願いし、もともと組織されている連合や商店街の関係者だけでなく一般住民まして小生のような近年住み着いたマンション住民にも理解できるよう、更なるご努力を切にお願いします。	41
・意見:私は区間⑤に近いタワー111マンションに住んでいます。旧草津川はこの辺では唯一の散歩場所で、犬の散歩にもかかせない場所です。なのに、道路が計画されていると知り、びっくりしています。道路を通すなんてぜったい反対です!!公園や広場にしてドックランを作ってほしいです。駅前のマンションはペットを飼って良いマンションが多いのに散歩する場所がありません。お願いですから道路にするなんて事はやめて下さい。	42
基本案によると川の中心を車道にしているが道路は草津市民の為にはあまり有効な活用方法ではないことは市民が将来にわたって唯一利用できる場所である。川の中は全面的に公園化し、子どもから老人まで利用出来るようにする。また、今日の地震災害等の大量の避難場所としても必要です。各区間を自治会や学校の区等で管理出来るようにして活用する。特に⑤の場所は歴史的にも天井川としても又、東海道、中山道の渡しとしても貴重な遺跡でもあり必ず残す必要があります。又、この場所は市民が何らかのイベントをする時、中心的な場所であり野外ガーデン的利用出来る場所としても必要である。道路は現在のものを多少改修⑤に出入りの為④と⑥の場所に少し大きめの駐車場は必要です。よろしくお願いします。守山のびわこ地球市民の森は3.5kmの公園化が進められています。参考になります。	43
「大路トンネルの上」 草津川廃川敷地は私たち他市からも昔の草津いちを思い出します。交通機能も大切ですが、小さい時からの想い出の場所です。 是非、残して頂いて身近に憩いやすらぐ場所として永遠に保存して頂いて生まれて良かった、住んで良かったと言われるよう、若い世代にも引継いでいけるよう な環境にして頂ければ最高です。	44
基本方針 交通機能(車道)について 自動車の車両の移動性を高めるだけで、南北への移動性や防災時にも利用できる云々の表現になっている。この機能性については、玉虫色の記載になっているだけで、大路・草津学区へのアクセスが何ら変わっていない。 旧草津川堤防の外・内法面のコンクリート壁を残して、防災機能の向上をうたっているが、それを排除しての内容なら納得もできる。 緑のみちというのであれば、高島市の桜並木のように手入れが充分にされたものなら、手入れのされていないこの桜に新たに植樹をして維持(川の水が流入されていないので育成が悪いはず)できるのか? 私の直系の先祖が行った公共事業(草津マンポ及び国鉄草津駅の新設工事)等は124年以上たった現在でもこの地区等の住民に対し、その恩恵があるのに、住民サービスが欠如した基本構想案では(防災時の避難場所の確保、無料駐車場、防災倉庫の新設⇒旧草津川の法面撤去部分に造る、交通アクセスの問題他)到底納得できるものではない。 熟考が足らなさすぎる。	45
区間⑤に道路は不要です。 絶対に作らないで下さい。 今のままで良いです。	46
区間⑤に道路はいりません。 そのままにしておいて下さい。	47
旧草津川跡地利用について 旧草津川跡地はてっきり公園やスポーツのできるところになるとばかり思っていたのですが、道路の計画があると知り、驚きました。子どもをもつ親としては絶対 に反対です!!駅前はとにかく子どもの遊び場がないし、車も多いし自転車の練習をする所さえもありません。 跡地だと車が通る心配もないし、安心して遊ばせられる唯一の場であると思います。 桜の穴場であることもこの辺りの住民だけでなく知られている場であると思います。絶対に絶対に道路は反対です!	48
今回の(案)にたいして、市の計画では至る箇所で緑を強調されているが、堤防内を車道と利用エリアが共有する様に構想されているのはいかがなものか。いくら東西の移動性を高め、防災時にも利用出来る環境にやさしい道づくりかもしれないが、川底を車と人が共有するなどとんでもないことである。なぜならば、堤防に囲まれた内側は車の排気ガスが漂うことになり、勿論、風もある事で大都会の街内程では無いであろうと思われるが、憩いの場としての環境ではないように思われる。 どうしても共有すると考えられるならば、車道はトンネル形状にすることを提案する。トンネル形状にすれば、その上面を公園等にも利用可能であるし、災害時等の防災機能にも勿論利用可能である。財源はトンネル形状にすれば、膨大なものになるであろうが、時間をかければ可能ではないだろうか。それが不可能ならばこの行動は不要と考える。故に、市民の意見を公募するならば、ただ一般市民の一意見として聞きますでは終わらない様十分なる検討を願うものである。	49
区間5基本方針 区間5の基本方針"人と出会い歴史を伝えるにぎわいと緑の創出"には賛成しますが、堤防間の距離が狭いので道路を通す事には反対します。市民が安心して くつろげる緑の公園にして下さい。	50

### ③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕 意見内容 番号 中山道・東海道の交差地としての歴史的背景をもつ箇所であり、天井川という全国的にも珍しい形態である事から、安易に車道として整備を行い現状の形態をく ずす事には反対いたします。 また、第二小学校への通学路である事から、車道とする事は通学路の安全を確保する観点からも疑問があります。河川敷については、歩道整備、防災広場とし て機能をもつ公園、広場としての整備を希望いたします。 51 まず初めに このパブリック・コメントについて ① 期間が一か月とは短すぎる(内容と期間があわない) ② 広報にこのパブリック・コメントの重要性が記載されてない。③も④もない内容。 ③ 総工事費(ざっと〇〇〇億円とか)記載されてない!! ④ 工事期間も記載されてない!! ⑤ たまたま公民館で図面を見たけれど具体化された図面構想(案)を広報に設置場所を明記していない。ネットを使える住民は良いが高齢者にやさしくない。 ⑥ もし、アンケートを事前にとっていたらそれを公表してほしい。 項目ごとの詳細は別紙(4枚) 項目 基本方針 ① 琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸 1) 道路にしてしまうと今のやすらぎはなくなる。 2) サクラの古木に対して今まで何もせず、いきなり緑、緑とうたっているが本気でこの桜の木を大切に守っている気持ちがあるのか。 新しい景観(魅力)←とは文面的には夢があるが、現実は春さきうぐいすの鳴く声、ゆったり老若男女が散歩している、ランニングしている空気のきれいなひととき はなくなる。

3) うるおいとは・歴史景観とは 東海道木線 びわこ線の駅近く

東海道本線、びわこ線の駅近くに草津宿本陣がいまだに残され全国的にも有名な天井川を残さずして歴史景観?中途半端な構想で大切な自然の地形をなくさないでほしい。(海外旅行へ日本人が行き、そのまま残されている街、建造物に感動して帰国する日本人)←余談ですが。 日本人はすぐ新しいことに力を注ぐが古いものを残すことは微力!

- ② 防災機能(都市の防災機能強化)
- 1) ただただ道路にすれば防災に有効とは限らないと考えます。

**|ここ草津駅前は高層マンションがすでに建設されまだ増加する予定。** 

小学校、野村グランドの広さでは不足かと(高層マンションの一戸の面積⇒平面にすれば)確かに道路は必要ではあるが、災害時、道路も役に立たないことも考えられる。一本山から琵琶湖へぬけるなにげないこの旧草津川を余裕のスペースとして残しておくことも一案かと思います。 マンション乱立のなか、今から道路づくりはすでに遅いかと思います。

いきあたりばったりの市政では困ります。

2)草津駅前周辺 街おこし?!古い歴史の街と新しくこしてきた人達と和やかな街づくりに力を注いでくださっている中、「まちあかり」も、もうなくてはならないイベントになりつつあるかと。大津の住民のかたもなかなか草津もやりますねと好評。また、いつも普通の人並がどこからこんなにたくさんの人達がと、あふれるばかりの賑わいの街あかり。そんなイベントにもつかわれた旧草津川を道路にとおかしい!! 人にやさしい市政をしてほしい。

52

#### ③ 交通機能(車道)

1) 東西の移動性を高める←具体的に車の流れを数字にあらわしたものがない。

平日と土・日とは確かに車の混雑は違います。大型スーパーへの出入り口等の工夫も必要かと。

流動調査を各信号で調査しているのをいまだ見たことないが、どこまで市側は調査しているのか?数字を明記し、その必要性を知らせる義務があると思います。

道路を作ってやさしい環境になるはずがない。

2) R1の渋滞も他府県の車の都市間の走行車もふくめてかと、大阪まで高速が増加し、いまや京滋バイパスも大渋滞となっている。それが草津、矢倉で 終了。 水口栗東間山手の道路ができれば少しはましになるかと。 今旧草津川東西に道路を作っても渋滞道路(土、日)を増やすだけのようにおもいます。

④ 各区間ごとの基本方針

各区間①~⑥までの住民の考え、各自治会の総合的な考え等公示すべき。

ー個人が思いをコメントしても、どういう流れで意見がまとまり、結果ができた今後の経緯が知りたい。各区間ときられても旧草津川は一本の流れの川である。

最後に

駅前にてマンション乱立しているこの地域で「街づくりは道路から」とはすでに遅い!!

総合的広い視野にたって政策を立ててほしい。

車も今若い人達は車離れが進んでいます。車好きだった団塊の世代ももう十年たてば世の中変化していると思います。

詳しい数字は知りませんが、大津に比べ、ここ草津は小さな子供達いっぱいスーパーへ行っても元気を感じます。子育てしている世代が多数いるこの草津 駅前にゆとりある公園を旧草津川(駅前区間⑤、④)に!!!

自然が残してくれた旧草津川に高額な費用をかけて年数をかけて道路にしないでください!絶対反対です。

意見内容	番号
前から思っていたのですが、今回の東北・関東の地震の映像を見ていて、国道のトンネルが余計怖くなりました。 地震があれば、道路も寸断されるし、出来るだけしっかりした安全確保できている道路を作ってください! 他市利用者からもお願いします。	
なにかあってからでは遅いのです!!!	53
草津川跡地利用基本構想(案)区間5について 道路利用は反対です。 野村~1号線につづく交差点により交通量がふえ、桜並木やその後、建設されるであろう公園(緑地)利用にも不利になるとしか考えられません。(排ガスの多く なる道路のそばの公園を利用する人がふえるとは思えません。)	54
京都の鴨川のような老いも若きも集えるような場所にしてほしいと思います。(土手全体を階段にして座れるように…etc)	
緑軸(歴史景観)、防災機能などは基本方針として良いと思いますが、交通機能(車道)とはいかなるものか。要は車道を作ろうということでしょうか?河川跡を車道にするなど誰もが思いつく極めて安易な発想です。緑軸、防災とも相入れないし、まして市街の中心に車優先を持ち込むようで大反対です。(広報における記載には防災、環境という字句でカモフラージュした車道が記載がありは?)	55
天井川で有名な旧草津川を残してほしい。 市民のいこいの場所ですから、車道は別のルートにして下さい。	
	56
① 草津市民の一人として、また高齢者の一人としてみんなが集まる場所を設定してほしいです。(緑が多くやすらぎの場を) ② 一昨年から、実施されている夢あかり街あかり一万燈のあかりイベントは是非継続してやってほしい。 ③ 道幅の広い道路が作られるようにも聞きますが、老若いこいの場設置を是非お願いします。	
	57
区間⑤にて車線道路を整備することに反対です。 ① 基本方針の緑軸(歴史、景観)と保つ事にはならず、(新しい景観)の意味がわからない。 ② 天井川としての歴史的な価値をしっかり守るべきで、道路との両立はありえない。	
③ 国道からJRに向かって一本の専用道路になり、そこに、市民の憩いの場所になるとは思えない。 ④ 今後の人口減少時代になる中であえて道路は必要ない。 ⑤ 街あかり事業などで、改めて、旧草津川の価値を認識された人々は多くいると思う。検討委員会が元々「道路ありき」で論議されていた感じで、新たな認識に のっとって、道路計画は再考すべき。	58
区間⑤についての提案 ・車道は通さず、みんなが楽しめる公園にしてほしいです。 検討宜しくお願い致します。	
	59
2月15 日号の広報紙を見て私の思いを述べさせていただきます。 本市に残された貴重な財産であり将来に悔いを残さないような土地活用を図るため作成されたと記してあります。基本方針の中で私は、交通機能(車道)東西の 移動性を高め防災時にも利用できる環境にやさしい道づくりを行なう。すなわち各区間に緑の創出と掲げる一方川底に二車線道路の整備が提案されているとい うことが考えられることから非常に残念に思います。市民のいこいの広場、草津市においてただ一つの大きな空間を、又全国的にも有数の天井川であった旧草 津川の原型を、残している歴史的にも貴重な場所をなくしてはならないと思います。先人が大切に残してくれたものを壊してしまう訳にはいきません。毎日多くの 人が散歩し、老若問わずのびのびと集う場所として毎日多くの人が利用してます。私ごとではありますが、少しでも皆様に気分よく散歩していただけますように、 堤沿いに花を咲かせるよう10数年前から草むしりに励み、今では春にスイセン、秋にはコスモス街道として咲かせることに頑張っています。少しの間に、草丈も 伸び人が散歩していても見えないくらい伸びて怖い思いもした堤でしたが、今はその草もなく見晴らしもよく、昨年から舗装もされ、水溜りもなくなりました。安心し	60
伸び入が散歩していても見えないくらい伸びで描い思いもした堤でしたが、今はその草もなく見晴らしもよく、昨年から舗装もされ、水溜りもなくなりました。安心してくつろぐことが出来る散歩道であり、ボール遊びも出来る空間も取っていただき大変嬉しく思っています。草津市民のひろばとなって、桜の名所としても最近多くの人でにぎわっています。 他市にも誇れる空間として是非この状態で残してくださいますようお願いします。	60
跡地に道路が出来ると聞いてびっくり 公園と老人子どもの自然の遊び場に成ると思って心待ちにしていました。 年に一度の桜が咲くのを楽しみに一番大切なオアシスを排気ガスで汚さないでください。 年に一度の街あかり華あかり夢あかりも天井川の中のローソクの火のあかり素晴らしいながめ、楽しみを取らないで、桜の名所をこわさないで下さい。 お願い申し上げます。合掌	61

意見内容	番号
道路にして車の通行量が増えることは環境破壊につながる。 緑化を推進し市民の憩いの場、子どもたちの遊び場にぜひ実現してほしい。	62
始めから無理な計画だったと思う。 住民無視のやり方に憤りを覚える。絶対反対!!	63
はじめまして。○○家の○○です。この度、株式会社△△代表取締役の□□様よりご紹介いただきました。 以前から□□様より、草津川の今後の利用方法について相談を頂いていまして、先日現地まで見学に行ってまいりました。 天井川と聞いていましたのでどの様なものかと思っていましたら、所々堤防を崩して道路にしているところもあり、無計画な行為としか思えませんでした。 教科書にも掲載されるくらい有名で、魅力ある天井川を活からず無計画に開発してしまうのはとても残念なことですし、草津市民の財産を失ってしまうことになります。 私は近江八幡のかわらミュージアムの設計、和歌山市のマリーナシティの開発、韓国加徳島国際都市構想コンペ審査員等、多岐にわたり経験をしていますので草津川の今後の計画に当たり、私のアイデアがお役に立てるかと思っています。 下記にアイデアを箇条書きにしていますが、具体的なことは一度お会いしてからお話させていただけないでしょうか。 どうぞ宜しくお願いします。 花火大会の開催 川の流れを利用したカルダー的芸術(LEDを使用する) 川生物の教室、研究館(ホタル、ゲンゴロー、魚等) 山林生物の教室、研究館(カブトムシ、クワガタ等→クヌギ林) 土手にお花畑 天井川の地下部分を利用したパーキング バードウォッチング 冬期→LEDを使用した光の芸術イベント(例:神戸ルミナリエ等) 多数のテニスコート→学生の合宿や試合の利用に伴う宿泊施設等 小魚釣り場	64
平成23年2月15日広報No1037号による草津川跡地利用構想(案)により、草津市民に公表し、パブリックコメントとして意見を求めておられますが、これだけの情報だけを市民に公表しても、今回の構想(案)の全体像が理解できず判断いたしかねます。特に、現在の草津川跡地を今後どの様な形容になるのか、事業期間、総事業費はどうか、どの様にして資金調達するのか等を明示した上で市民の多くに問いかけないと将来に悔いを残す結果と考えるのは私だけなのでしょうか。性急にして結論を出すべきでないと案件と考えます。	65
私たちの地区に接する「区間⑤(国道1号〜JR琵琶湖線)の整備案において、道路はいりません」 全国的にも、有数の天井川であった旧草津川の原型を残している歴史地区として、貴重な場所を大切に残してほしいです。 よろしくお願い申し上げます。	66

#### ③音目仝立「昔津川跡地利田其太楼相(家)に対するパブリックコメント提出音目)

③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕	
意見内容	番号
等す。結論から申上げる。草津川海川地湖に自動車専用温路経型は新国及対である!  の度のパブリッ・コメントについては何れたはは基本構物で飲い、果成14年に実定された草井川原川敷地を優基本計画を基に、策定時期からの社会的・物理的変化を反映して東定しました。有るものの、所詮は一番安易な道路経過を推進するが為の草津川焼料資産会をある。 別してや、地元に進地した大学の教授(〇〇氏)を関ラ会会の委員と「精え、その手法たるや今日まで、国・地方を問わず、行政が至る地で、執ってきた常奉手段に過ぎず、保身である事も過けて見える。  事津市当島、利川市長の姿勢で市政は本質的に、前市長であった伊庭氏と何ら変らず、峻別すべきものは全く見えない。 市役形と言治諸線の中、言い境えれば狭い場の中で、長年に亘り増われて表た。上下関係を引き潜る慢性的、体育を払拭出来ず、唯、惰性的に安島・脆弱な発泡の下で、平成14年の体部を持ち出たに通ぎない。所意、独山市長人間に次の行である。  言て、滋賀県が成土に上げた。滋賀空港建設計画、又東連直新幹線果実新規建設等の問題提起と何ら変らめ、現実を無視した道路建設計画の発想である。 「当場で成りないましました。」「本理主動性のようない。「一般では、現代を必要ない、特に利いたいる」「本理主動性のようない。」「一般では、現代を必要ない。「本理主動性のようない。」「本理主動性のようない。」「本理主動性のようない。」「本理主動性の現場である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	67
草津川跡地に道路は必要ないのではないと考えています。 議事概要を読ませていただきましたが、なぜ「道路をつくること」が前提となって協議会を開いているのかを説明していただきたいです。なぜ「道路をつくること」が前提になっていると感じたかというと、第一回の草津市草津川廃川敷地土地活用検討委員会 議事概要での審議・主な発言の最初に「F114.5策定の草津川廃川敷地整備基本計画を基本として本委員会を進めていくという理解でよいか。」となっていて、構成されて間もない協議会の方向性が、最初の集まりで、しかも最初の発言で決まっていたからです。そもそも「道路をつくるかつくらないか」の議論を今回つくられた協議会で行っているのでいるのでいるのでしょうか?もし議論しているのでしたら、そこでどのような話し合いが行われ、どのような経緯で道路が必要であるという結論に至ったのかを、今一度、詳細に説明していただきたいです。またパブリックコメントに、車道をつくることを明確に記述していないのは何故なのかご説明していただきたいです。 草津市にとって旧草津川は財産であり、車道を通す以外にもっと魅力的な活用方法があると思います。計画を白紙に戻し、一から市民・行政が一体となって計画を考えていっていただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。	68
P1 5行目 道路(車道)なく大人も子どもも使える多目的な公園を作ってほしいです。	69

意 見 内 容	番号
区間5 道路にしてしまうと、歴史的景観もなくなり、子ども達が遊べる場所も無くなるので、考え直してほしいと思います。	70
道路整備 P1 5行目 道路整備よりも、広場、公園、緑地といった点を重点的に優先してほしい。 広報にはなんら説明がされていません。 P1 8行目 広報にも公表し、もっと多方面の分野より意見を交換する必要があると思います。	71
2月15日の広報を見ましたが、パブリックコメントを求めておられますが、道路になるように書かれていると思いますが、各区間において緑の創出と書かれておりわかり難いと思います。 区間5において、天井川として歴史的に見て草津市にとっては、本陣とセットして残して観光資源として草津の魅力を発信していくところと思います。また、昨年の「街あかり」のように、他市にない独自固有の他では出来ない「あかり」が出来る場所だと思います。又、市民にとって大路、本町地域において、子供たちが安心して遊べる、そして、大人にとってもゆったりとした大きな公園がなく、これから市民が安心安全で暮らすには公園が必要と思います、そして、景観、環境面においても通過道路ではなく公園として、「げんきとうるおいのあるまち草津」を目指して活用方法を考え直して欲しい。	72
区間⑤ 道路と公園との併設の計画であるが、国道からの交通量流入が多いと予想され、住民の憩いの場にできるとは考えにくい。 また、歴史的にも貴重な場所であり、道路を造ってしまうのはもったいない。 よって、区間⑤においては、道路はいらないと考えます。	73
区間⑤ 通過するだけの道路より、子どもたちが安心して遊べる公園の方が良いので考え直して欲しいです。	74
私は草津市観光ボランティアガイド協会に所属しています。私たちの協会は滋賀県と平成18年12月より「草津川廃川敷地管理協定」を結び、旧草津川のさかえ橋上流区域の一画を、草刈りや清掃作業を条件に借り受けています。ここに、広重の描いた浮世絵に習い小橋を掛け、小さな案内看板を立てて観光ガイドの一助にしていますが、多くのお客様が関心を寄せて下さいます。 さて、2/15付広報に「草津川跡地利用基本構想(案)」が発表され、パブリック・コメントの募集がありましたので、意見を申し述べます。機要説明の中で「交通機能(車道)」とうっかりすれば見落としてしまいそうな小さな見出しと簡単な説明が示されていますが、これこそが、跡地利用の根幹であると思います。どの範囲にどのような車道を付けるのか明確に示さないで、パブリック・コメントを求める姿勢に強い疑念と不満を感じます。旧草津川は教科書にも載るほどの有数の天井川です。しかも自然にできあがったものではなく、多くの地域住人が川の氾濫から田畑や家々を守るために永きに亘って汗して造りあげた。まさに命の結晶であり、掛け替えの無い歴史遺産であり、土木遺産です。このような貴重な遺産は「そのまま残す」が基本だと思います。ここに車道を通す事には強く反対します。東海道と中山道の分岐・合流点が天井川という地理的特殊性を大切にしたい。これは単に草津だけの問題ではなく、全国の歴史、地理の研究者やファンへの思いも配慮した視点が必要だと思います。結論として、全国から多くの方が見学や視察に立ち寄る区間⑤はそのままの姿で残していただきたい。(もちろん、他の区間はどうなってもよいということではありません)そして、中山道の「草津川の渡し」を再現し、本陣と共に草津市における街道筋での2大観光ポイントにすべきと考えます。以上	75
草津川の跡地を「緑の道」として利用するという提案は大変よいものだと支持したいところですが、その基本構想の実際の整備案が桜並木の草津川の川底に2 車線の道路を作るものであると知り、憤慨しております。 広報にパブリックコメントを求めるのであれば、道路建設の旨をもう少しはつきりと明記すべきではないでしょうか。 広報には「交通機能(車道)」としか書かれておりません。どのぐらいの幅の道路がどこにどのような形で建設されるのでしょうか。 緑を残す計画だと信じて、実際はそこに道ができたとしたら、市民として市に嘘をつかれたと思います。 草津で生まれ方た私からみると、既に道路でせき止められてしまった、草津川の跡地の無惨な姿にがっくりしています。その上、草津川の見事な桜道の下に車がこれ以上通ることになれば、今までのようにお年寄りや子供までが安全に安心して桜を観て楽しむことができなくなることは、明白ではないでしょうか。 排気ガスの中で誰も花見を楽しむことなどできませんし、桜の木も弱ってしまいます。誰もが分かることではありませんか? 自然のまま残すことはどうしてできないのですか?世界中で、自然を保全する動きが高まっている中で、どうして草津市はいつもそれに逆行するような町作りしかできていないのでしょうか。草地や土手の木や草の手入れに真大な費用がかめのであれば、それこそ市民に働きかけてはどうでしょう。ボランティアでキレイな町や土手を維持している町は日本にもたくさんあります。お金をかけずに、市民が自分たちで町を守っていくことはできるのです。花を植えたり、整備する作業を、例えば農業高校の学生に依頼してはどうですか。それによって、学校と市が協力した町作りだってできるはずです。 景観を残し、本当の意味での「緑の道」を作るのであれば、新しい車道はいりません。 そして、市としてもっと権規の詳細を市民に開示する義務があるのではないでとょうか。 草津川は草津市がもっとも大切にすべき景観です。それを本当の意味で守る市であってほしいと強く願います。	76

#### ②音目今立「首津川跡州利田其太燁相(家)に対するパブリックコメント提出音目〕

③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕	
意 見 内 容	番号
● 概要の項についての2つの質問 ◆ 該当箇所・概要の(17~4行) 「基本構想(楽)は、平成14年に策定された草津川廃川敷地整備基本計画をもとに、…社会的・物理的変化を反映して…。」について 質問1 平成14年以降の変化(問題点)をどのように把握し、基本構想(楽)に反映したのかが、公表されていません。(第5次総合計画の将来ビジョン 出会いが 織りなすふるとど一気で、"うるおい"のあるまち草津から、なぜ"「緑のみち」の形成"に至ったのかがわからない…。) ◆ 該当箇所・概要の(7行~9行) 「・・・、琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸・・・」」と「基本方針の4つの項目」について 質問2 これは交通機能(単道)を中心とした1つの案としか読み取れません。「車道なし」のB楽、C楽は検討されたのでしょうか。(基本方針の4つの項目は「緑のみち」の付加価値向上の方策としか読み取れませんが・・・) 背景 60歳以上が総人口の30%を超え、少子高齢化時代と言われてから国・県・市の借金がどんどん増え、そして大企業が大幅な「リストラ」をしているにもかかわらず、超就職難時代になってしまいました。 ● 町内で調を合わせる人、ボランティアで一緒に活動している人、趣味で集まる人、孫以外みんな高齢者と言える時代です。この少子高齢化により、財政が圧迫され、社会福祉の現状維持すら難しいと言われています。 コメント 自然を高い戻し、高齢化へ対応するには、「消費より労働」が大切でしょう。老若男女を問わず、草津市民一人一人が自分の将来を予測できる基本構想(案)が彼しいですね。 例えば、〇〇県△△市民病院の「老々医療・・・高齢化対策」のテレビ特集のように、60歳以上の15人の医師達(最高齢83歳)が閉鎖直前の病院を救った。草津川の跡地利用検討でも、このような切り口を変えた案が出たのでしょうか。 1問題だらけの現代、将来子供たちや探えのでもらえるのは、「緑のみち」を作ることでしょうか? 道はないよりあったほうが良いことは当然です。しかし、車道を中心とした歴史・景観、防災機能強化、緑の創出のみでなく、財政赤字をなくすような代案も欲しいですね。 草津川跡地という特殊な形状を持った土地の有効活用を図ることによって、コスト面でも地球環境の面でも日本全国から見学者が後を絶たない。そんな基本構想(案)をお願いしたいなと思いました!	77
計画書案について、車優先の道路としての利用には疑問を感じます。 一度そうなると元に戻るとは考えられず草津市内(駅前含む)の現状、車が入ってくるキャパは一杯一杯に感じます。 むしろ、人にやさしい広々と緑に包まれた緑地公園を作られる方が(市街地に公園がない、少ない)ベターには感じます。 子供が安心してボール遊びができ、家族で遊んだり、ジョギングしたり、木陰で老夫婦がくつろいだりというスペースを考えてください。	78
子ども支援のNPO活動をしております。 数年前、旧草津川跡地利用を考えるにあたり、子ども達からの意見をまとめたことがあるのですが、「車の来ない場所で思いっきり遊びたい」という思いの子が多数でした。この裏返しに「私たち、僕たちは一体どこで遊んだらいいの?」と問われるように感じ、今日まで、冒険あそび場づくり(自分の責任と自由にあそべる場づくり)の活動を川底でやっております。草津の未来を担う子どもたちが、心身共に健全に育つ環境として、マ、子どもの権利からの視点を入れての計画をお願いしたいと思います。天井川として、草津の歴史を物語る文化は、草津をふるさとにもつ私たちのそして子どもたちの精神風土です。 脱温暖化、環境共生を包含した持続可能社会のビジョンを描く構想であってほしいと思います。	79
残してください 第一に桜の光景 緑のみち 人が大事 計画を再考すべきです	80
新しい道や歩道に新しい植え込みを作ることよりも本来の自然を育むことの大切さを重点においてください。 桜並木は草津の何よりも誇れる場所です。街の中心に車を乗り入れることよりも老人から子供までがいこえる場所を確保することが重要だとおもいます。 今からでも、まだ出来ることがあります。 昨年世界一美しい街と呼ばれるチェコスロバキアのチェスキークルムロフという街を訪ねました。 川の流れに育まれて長く生きつづける街で目を引いたのは1本の木であったり、時間の流れを感じさせる並木でした。 草津市の仕事で植えられた木々のなんと貧相なこと。大きな木を抜いて、細い木を植え、枯らし、木を抜く・・・・こんな仕事はこれ以上しないでほしいものです。 雑木林のような市民の森を実現していただけないでしょうか。もう草津には草津川の広い跡地をもって未来にむかうしか、市民の生活を潤すすべはないとおもいます。 "草津の森"に生物や人がいこえる空間を、人にやさしい市政を今いちどよろしくお願いします。道路をこれ以上つくらないでほしいです。	81
「交通機能の強化」 その他、全般的に「交通機能」について 草津市に通学する学生です。 草津川廃川跡に「交通」機能は本当に必要なのでしょうか。 確かに、防災時には活用されるかと思いますが、もっと「交通」機能の必要性を考えるべきであると思います。このために跡地に道路整備をするのは、景観を損なうマイナス面があまりにも大きすぎると思います。 もう一度十分な検証を行ってほしいです。	82

③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕	
意 見 内 容	番号
旧草津川跡地は、私達草津市民にとって非常に貴重な財産です。過去には幾度か氾濫に見舞われ、私達の生活を脅かしてきた旧草津川からようやく開放されました。そして、今は、それが私達草津市民にとって、特に、緑の少ない市街地にとって、かけがえのない安らぎの場となったのです。現在、その河川跡の利用計画が推進されているそうですが、是非とも草津市民の生活の安全と安心の確保に重点をおいた計画を推進して頂きたいと思います。聞くところによりますと、河川敷を道路化し、東西の利便性を重視するかのような計画案もあるようですが、もってのほかです。道路化すれば、国道1号線や、その他の幹線道路のバイパス化となり、自動車の排気ガスや、騒音等により、環境汚染が進行するのが明白です。そして、そこに住む市民の安全で安心できる生活が脅かされていきます。その上、車が通過するだけの街になりかねません。市街地の活性化も大切な課題ですが、それを犠牲にしては成り立ちません。縁地化を推進し、万一の時には、防災時の避難地として、即ち、美しい、潤いのある、安心して住める街づくりがあってこそ生き生きした街になると思います。その為に、この残された財産を利用すべきだと思います。。奇しくも、東北太平洋沖地震が発生した矢先だけに、備えの必要性を痛感します。阪神地方から見れば絶好の住環境です。「住の街」づくりこそ草津の永続性のある繁栄をもたらします。現在、土手沿いを、散歩する人、ジョギングや、ゲートボール等スポーツを楽しむ人、ボール遊びをする子供達と老若男女の交流の場となりつつあります。更に、一歩進め、自然と一体化した街づくりを期待します。	83
旧草津川跡地利用は、子どもたちが安心して遊べる広い公園や、広場として利用できるようにして欲しいです。 また、4月は桜もきれいに花咲く時期でもあります。花見をゆっくりできる場所としても残しておいて欲しいです。 道路になる案もでているとうわさで聞きましたが、排ガス等の空気汚染はもとより、子どもが安心して遊べる場をうばう形になると思われますので、その案だけは 避けて頂きたく思います。	84
旧草津川は全国的にも珍しい天井川としての歴史的遺産であるから、その形状はみだりに崩すべきではない。 春になると美しい桜が咲いて家族づれでお弁当を食べたり、ゆっくり散歩を楽しむ――そんな歩行者天国のスペースであってほしいです。 草津川跡地に絶対道路を通してほしくありません!	8
旧草津川跡地利用について ・道路はいらない 駅前周辺にはマンションも多く、子どもたちが安心して遊べる広場がない。車道と並行では危険がともなう。公園のみの利用を強く望みます。 ・防災拠点として 東北関東大震災をみてても、なにかのときの防災設備は必要不可欠。公園の地下に備蓄倉庫、水タンク等を備えた公園。近辺の指定場所では足りない避難 施設を備えた公園を強く望みます。	86
区間⑤について及び道路整備案について70頁から72頁および81頁から85頁 ・地域の歴史資産としての草津川を大切にし、賑わいづくりの拠点としての整備を強調しておられますが、断面図をみると、川底に8m道路と13mの利活用部分が住み分けされています。たった13mで、何かにぎわいの拠点が作れるとお考えですか。もう一度、よく再考していただきたいです。・国道1号からJRに抜ける区間⑥は、恐らく区間②~⑥の中で 最も車の流入量が多くなる区間でしょう。その区間で、8m道路(しかも、まちなかに抜ける道のない単なる通過道路)と13mの利活用部分が共存できるとは思いません。緑地部分や歴史施設を整備される予定でしょうが、車がどんどん通過していく横で、誰が子どもの手を離せるというのでしょうか。安心して子どもの手を離せないようなものは、まちなかに必要ないと思いますし、活用もされないと思います。それよりも、日本有数の天井川として教科書にも載っている旧草津川を、市民が安心して利用できる公園や空間として整備することが必要なのではないでしょうか。草津にしかない貴重な資産を、道路を主眼において整備するのは非常に勿体無いことだと思います。整備前から利活用しにくい見通しのものに多額の公費を投入するのは、それこそ無駄使いではないでしようか。この基本構想は、是非とも再検討頂きたいです。・そもそも、これから徐々に人口減少および高齢化していく草津市のまちなかに、新たな道路は必要ないと思います。車を運転する人が少なくなった20年後を見据えての、基本構想なのでしょうか。それとも、ただの渋滞緩和のための道路でしたら、ますます必要ありません。・また、平成10年に滋賀県が草津川跡地に道路を整備するという案を出した際、反対運動がおこり、2万人を超える署名運動にまで発展した事実は認識しておられますか。その時の提出案に「緑」と「環境」が加わっただけにも思いますが、既に道路整備自体が地域に受け入れられない可能性は考えられなかったのでしょうか。	87
区間5について 1・天井川といった歴史的遺産を道路にしてしまうことに反対。 又歴史的遺産のある本陣や東海道、中山道といった中心市街地の街なみを道路で分断してしまう事にも反対。 一度道路が通れば、二度と元には戻らない。 一度道路が通れば、二度と元には戻らない。 高齢化社会をみすえた長い目でみても、道路は必要なく、町の中心には市民の憩いの場として環境にやさしい公園などにするべきである。 2・市民生活、草津市の今後のまちづくりに大きな変化を与える今回の区間⑤の道路計画などは、広報にのっているレベルのパブリックコメント情報では、市民の真の声を吸収できない。もっと親切・丁寧にすすめるべきで、パブリックコメントのやり方を再考する必要があると考える。	88
歴史的遺産の天井川を道路にすることはおかしい。市民のいこいの場として環境にやさしい公園などにすることを検討した方がいい。	8

意見内容	番号
区間5について 今後の高齢化社会を考えると、町の中心に道路ではなく、やさしさと緑のいっぱいある憩いの場所とするべきであり、道路を通す必要はない。 桜並木の花見は、楽しみでありゆっくりとした空間が必要。 秋の草津街あかりでの天井川の一万燈のあかりは、とても良かったです。 道路反対。	90
区間5について 草津市の中心街で、本陣など歴史的遺産もあり、市民の憩いの場所としての活用をすべきであり、道路は必要ありません。	91
地図① 図③ 草津川跡地に車道と利用エリアの両立は無理とおもいます。車道は必要かもしれないが、堤を片方だけにして車道と利用エリアをもっとはなすなど、柔軟な考え 方で再考してほしい。(区間5)についてです。	92
1. 基本方針として「琵琶湖~市街地」の緑軸という構想には全面的に賛成。ただし、「緑軸」という美しいことばに終わって実態が伴わないことにならないように。申し訳程度に樹木を植えたり残したりすることで済ますことにならないか心配。現在残されている堤防上の樹木を補い遠くから眺めても細長い森が続いていると思えるような景観を。これは草津市街を貫く東西の防火帯となると思う。あってはならないが大火災が起こった場合、大きな役割を果たすだろう。 2. 基本方針には明確に出ていないが、東西を貫く道路を作りたいというねらいが見えかくれする。たしかに東西を結ぶ道路はおいおい整備されてきてはいるが、まだまだ不足している。そのためこの跡地を道路として利用したいという考えは理解できるが、道路としての活用に重きをおくと、この緑軸という構想が影薄くなる。どちらを主とし、どちらを従とするかということになるが、あくまで緑軸の創出を重点において、道路はそれを生かしながら整備していくよう具体化してほしい。道路の整備は他の方法、手段を工夫することもできよう。 3. 「区間5」に少し出ているが、「歴史を伝える」という方針を強く推し進めてほしい。天井川が各地に残されているが、草津川は今ならその姿が典型的なかたちで残されている。これは、先人が川を利用しつつ、それとたたかってきた営みを具体的に示す生き証人であり、貴重な文化財である。堤防の土を取るために川沿いにあった池ができてたと聞く。それがどんどん失われてしまって先人の努力が忘れられていく。たとえば、第二小学校は世基池、野村運動公園も松原中学校も池の跡を利用してできたというが、それを知る人も少なくなって行く。その他に東海道、中山道の渡し、川の下を貫くマンポ、堤の桜並木などがあるが、失われてしまったら、もうもどらない。この点も大いに努力してほしい。	93
区間5について P70~72 草津市の中心街で、本陣など歴史的遺産もあり、市民の憩いの場所としての活用をすべきであり、道路は必要ありません。また、桜並木や街あかりを楽しみにし ています。	94
区間5についてP70~72 今後、高齢社会を考えると、町の中心に道路ではなく、やさしさと緑のいっぱいある憩いの場所にするべきであり、道路を通す必要はないと思う。 毎年、桜並木や街あかりを楽しみにしているので、歴史的遺産の天井川を道路にするのは残念なことです。再検討してほしいです。	95
・1998年(H10)に四車線道路反対 「市民の憩いの場・災害避難公園」などの署名を 22862名あつめました。(くさつ自然環境を考える会→解散) ・2001年には、天井川フォーラム等を開催して県・行政(市)・一般市民・学識経験者をパネラーに主催もしました。 その中で道路は通さず、子供達に自然学習の場、歴史的遺産として天井川の堤体を保存する、桜並木の保全などいろいろと意見が出されました。 今回の基本 構想(案)は、やっと少し形になったことは感慨深いものもありますが、一般市民にはわかりにくいというところも多々ある様に思います。 少子化、高齢化、今後の草津市にとってやはり住んでいる市民がそこを憩う場としてゆったりした空間を楽しみ、低炭素社会に向けての場所づくりを望みます。 (観光のルートにするのは中心市街地の問題の解決が第一だと思います。)	96
草津は都会でありながら河川沿いの道を蛇が優雅に横断するほどの自然に恵まれた地です。早春に咲く梅や水仙、咲き誇る桜の並木、秋にはコスモス街道に化す河川沿いの道をウォーキングをしたり、サイクリングをするのは日常の煩雑さを忘れさせてくれます。そして比叡などの山々や日本一の琵琶湖を拝することが出来るのは誇りにさえ感じます。また、東海道五十三次の五十二番目の宿場町であり、珍しい天井川痕跡など歴史遺産に富む地でもあります。このように草津は豊かな自然と文化の財産を有しているところなのです。私たちはそれらを大切にしてきました。それらを保全し、次の世代へと継承する義務と務めを担っています。この自然と文化遺産は人間の情緒を豊かにしてくれます。一方、車社会の便利性もまた私たちにはなくてはならないものです。しかしこの二者の共存は非常に難しく、常に議論を呼ぶところです。私たちは提示されている計画が、いま享受している自然と文化遺産を損ない、老人たちが憩える場を狭め、奪うことを危惧しています。現在市の17%を占める30代、14%の40代の人たちが20年後に高齢者の仲間入りをするとき、憩いの場が不足します。現在進められている計画は図面上では、美しく理想的であるかもしれません。しかし住民はその計画をどのように考えているのでしょうか。計画は先祖から受け継がれてきた人々の思いを反映するものでなければなりません。私たちは私たちと同様に、子孫が未来永劫自然と共存し、ゆたかに暮らせる都市計画を望んでいます。この地に住む人たちと十分話し合って計画を進めて下さることを切に望みます。先人は「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」と言っています。成田空港計画が犯した誤りを二度と繰り返さないことを心からお願いします。	97
2月15日付発行 くさつ 草津川跡地利用… P2を読んで、旧草津川跡に道路が計画されていること等具体的な内容は全くわからない。詳細な計画があるのなら、すべて具体的につまびらかにし広報に載せ るべきである。道路計画の是非はともかくその姿勢すべて具体的な構想(案)について広報しないと住民をだまし打ちにするようなもので頂けない。以上	98

意見內容	番号
車道を作る計画に反対です。	
	99
バブコメをブレンドして、大所高所からさらに高適な案のご検討をお願いします。自動車道路は縦横無尽に沢山あるに越したことはありません。 ただ、自動車利用者が自由に我欲のまま道路を求めて行く時代は過ぎました。 草津市の宝・財産になるであろう空間(場所)は、「人の集まる場所(出会い・ふれ会いの場所、行きたくなるような場所)」「健康作り出発の場所(次の行動に結びつく場所)」になればと折っています。 お願いします(その1) 都市間の通過的道路は市域の外周を利用し、市域の中は相当の交通制限(自動車)を強いるべきと考え、道路最優先的な計画と思われることのないように考えていただき、線で取り囲む(活動的にも、憩いの場所的にも)ゾーンを望みます。 さらに、当市の文化・スポーツ・福祉・官庁街・商店街など旧草津川から歩いてそう遠くないところにあり「駐車場」(催し時、来訪時に役立つ)を適所に配備することも肝心と思う。グリーン球場・総合体育館・テニスコートのある現総合運動公園の辺りのところは駐車場が絶対必要と感じています。 また、小区画のフィールドから大イベント会場への変身可能なグラウンドの配備も一考していただきたい。散歩、グラウンドゴルフからライブ、大規模祭りが出来る場所があればと思います。お願いします。 は場所があればと思います。お願いします。お願いしまで(その2) 草津市第5次総合計画で「緑のみち」として位置づけされ、本跡地利用基本構想(案)でも「緑軸」が提唱されていることは非常に心強い。 ただ、正直申し上げて、この今回のパブリックコメントにより市民の関心事に火がついた思いです。有意義なパブコメであると評価いたします。 したがって、構想(案)ありきでなく、このパブコメからスタートして(案)を組み立てていただければと思います。 まおいて、構想(案)ありきでなく、このパブコメからスタートして(案)を組み立てていただければと思います。 まま、「本内各面で活動の多くの各種市民活動団体の率直な声を時間がかかってでもヒアリングされて委員会の計議題となりましたか。 また、(案)作成協議検討に際し、委員会委員の発言以外に、どこかで市民の考えや情報をキャッチ・まとめられたかをお尋ねしたい。 次に、もう少し具体的表現にはならないでしょうか。特に、イメージ映像、模型などが見られれば、関心や意見提言などが活発になると考えられますが。	100
① 草津グリーンスタジアム・総合体育館・図書館・商店街付近に駐車場の設置を要望します。少々歩いても良いと考えます。 ② 下流の方には学童野球場も欲しいです(4面)以上	101
交通機能(車道) 本町地区に居住する一人として約20数年前、本町元町まちづくり推進委員会をたちあげ、活性化の重要な要件として草津川の廃川に伴う検討、提言をして参った時期がありました。 当時より跡地利用構想については市内交通事情の悪さから道路敷としての活用との考えがありました。今般の利用基本構想(案)が示された中で車道の併用があり、とりわけ区間5については市民の意志が十分反映されているのでしょうか。 草津川は申す迄もなく天井川としての歴史的遺産を市民が共有し、後世に伝えていくことが、草津の都市アイデンティティとして生かすべきであるとの論議をしたことがあります。基本構想(案)では平地化しないとのことであり、他の案に異論を述べるものでありません。 草津市中心部には公園としての機能を整えた施設が殆どなく、残念ながら決して恵まれた自然環境であると申せません。車道を取り止め住民が安心して多目的利用出来る空間づくりが必要であると考えます。休日には親子がふれあい、憩う場として、春には桜の花が市民の心をいやしてくれる、その様な場に車道を設けることがはたして必要なのでしょうか。環境にやさしい道づくりを挙げてありますが、何故併設することが環境にやさしいのか理解に苦しむところであります。特に高齢化社会の中でこの空間の利活用は市民から今後どの様に活用していくのか、その施策も必要でないでしょうか。長尺空間は道路敷への発想がされる処でありますが、豊かな草津市の都市づくり構想で、このことは再考されるべきでないかと考えます。何卒よろしくお願いいたします。	102
川床の道路化 ① 住民としてこの場所ルートに道路の必要性は無い。 ② 両側に土手が有り、車道、歩道の併設は心理的に危険を感じる。また、自動車排気が土手で滞留し、憩いの歩道とはなり得ない。 ③ 幹線道路間の連絡道路として必要とするなら接続部以外は地下トンネル化すべき。 土地利用案 時勢により防災用地とした公園化を提案する。 ① 既存の土手は大火災時の熱線の防護壁とする。 ② 川床は避難場所として利用 ③ ソーラー発電を利用した自己完結型の照明等の設置 ④ 交差する下水道配管に直接落とせるトイレの設置。災害時は給水、送電の保障はない。 ⑤ 雨よけ、日よけ用の仮設テントの設置スペースの確保。以上	103

意 見 内 容	番号
	104
旧草津川跡地は市民参加型のイベント「草津街あかり華あかり夢あかり」の開催地でもあり、まちおこしの貴重な地域資源がこの道路建設によって失われるのは大変残念なことです。 本当にこの計画は必要なのでしょうか。 計画の再考を求めます。	105

意見内容 番号

1-2 4

旧草津川の歴史

明治·大正

●「桜の植樹が開始され、以後6 年間続きました。」ではなく、その後近隣の人々(地域住民)の努力によって今日があります。を追加した方が望ましい 1-4 6

交通施設の状況

- ●「・・・道路で渋滞が発生している状況とある」が、各道路の交通量と混雑度の試算とその要因を公表し、数値化(見える化)して下さい。そうしないと、判断がしにくい。
- ●草津駅および南草津駅の利用状況(乗車人数)は、5~25%程度増加していると記されていますが、平成14年と比べると草津駅は+735人(約2.7%)、南草津駅は+4,968人(約22.5%)で平成20年度まで増加傾向(前年度比約800~1,000人)にありましたが、昨今では前年度比で草津駅は-612人、南草津駅は+172人であり、鈍化・飽和傾向にあり、必ずしも増加していませんので、正しい分析をして下さい。 1−5 6

市街化の状況

1)都市計画公園

●平成21 年度の1 人当りの都市計画公園面積は4.55 ㎡/人ですが、全国平均や近隣市町と比べて状況はどうなんですか?

また、市内の小学校区を該当地区と比べて公園環境状況を公表し、数値化(見える化)して下さい。

※市内の地域別での差異(草津駅・南草津駅付近は少)はあるものの、該当地域での公園が整備されておらず、ゆとり空間の少ない状況とは云い難い。 愛称サンサン通りの建設の際には、第二草津小学校の運動場の面積を減らしたり、西友・敷島カンパスなどの旧跡地でも公園用地として確保できたにも関わらず放置し、都市計画(公園・道路)の曖昧さと、高層マンションの建設による急激な人口増加要因していると考えられます。 2)避難所 7

●通勤・通学者や観光者など帰宅困難となった方への避難場所の提供ですが、草津市が想定している各人数と避難に必要な場所・面積と施設の試算を公表し、数値化(見える化)して下さい。

2-1 11

これまでの経緯

河川改修の経緯

●河川法の関係で、約4年間は市道建設工事(大江霊仙寺線)や草津川の築造過程の調査ができなかったことは、「表 2-1河川改修の経緯」の中に入れて記載し、経緯を残すべきである。

表 2-1 11

河川改修の経緯

●工事着手は、昭和57(1982)年4 月ではなく、昭和57(1982)年6 月です。

2-2 16

上位・関連計画との関係

草津市都市計画マスタープラン

地域別構想

●草津川跡地の位置づけで、草津川跡地に隣接する志津地域は記載漏れですか?

隣接するのであれば同地区(青地町)の人の気持ちも鑑みながら、何らかの位置づけをするべきである。

※山田地域の伯母川(河川法では)の名前は存在しません。

国道1号線から以降は、地元の人々は愛着を持って伯母川と呼ばれていますので、通称伯母川と云う方が望ましい。但し、現在の河川は上流の伯母川より 水を引き入れていますがあまり知られていない。また、山寺川の本流にもあたります。

3-2 25 24 57

現況特性の整理と課題

2)区間毎の特性と課題

●「草津川廃川敷地整備基本計画」においてゾーニングされた6 つの区間(ゾーン①~ゾーン⑥)について、社会要請や現況土地利用特性などを再度整理し、「草津川跡地利用基本構想」での3 つのゾーン(A ゾーン、B ゾーン、C ゾーン)と6 つの区間(区間①~区間⑥)に区分して、整理されたとのことですが、ブーンの扱いに非常に混乱をきたし、理解しにくい部分(特にP57)があります。

「草津川廃川敷地整備基本計画」のゾーンを記されているのは、P24と P57の部分だけです。P 25の説明をしているので、P24の3行目の説明文を削除して、「ゾーン①~ゾーン⑥」からの部分を「区間①~区間⑥」に、P57の「ゾーン①~ゾーン⑥」からの部分を削除して、下の説明「河川環境の保全~栗東市とのゆとりある共有空間の創出/地域間交流の活性化」にして、基本構想の3 つのゾーンとの区分けをすると、P 53「3つのゾーンと6つの区間」説明が理解しやすいと思います。

※わかりにくいから「A ゾーン」からの割り付けを「区間⑥・⑤」からにしたのではないですか?

(1)区間① 26

堤防整備の方向性

●各区間(区間①~区間⑥)の現状の課題と堤防整備の方向性については、方向性の中に課題が入っており、区間堤防整備の最終形成を目指す姿が具体化されていないにも関わらず、図面上では具体化されている。プロセスがまったく無視された状態で行われている。これでは駄目である。

※課題抽出し、P57の「図4-14 草津川跡地利用の基本方針」に基づき、図面化したことを各区間ごとの方向性に示さないと何もわかりません。

出きるか出きないかは別として、曖昧な方向性を示さないようにして下さい。 ※市民アンケートも、課題抽出のツールであることを認識して下さい。

ここの所が、論議の重点課題になるのですから、現状分析を正確にして下さい。

(2)区間② 29

堤防整備の方向性

●「自然環境をどこまで保全するのかによって・・・」とは、方向性がまったく示されず、曖昧である。

現状の課題

●弾正公園の駐車場が不足している状況が見られる」のは、論外である。

※都市計画公園の不備と目的外使用がある。 区間③の現状の課題は、これだけですか?もっとあるのではないですか?

車のことばかり考えられていませんか? ●左岸歩行者・自転車道の浜街道・県道小島木ノ川線及び新田橋左岸の横断については、信号・横断歩道がなく非常に危険であり、子どもたちも含めて

|安心して横断することができない。 |※草津川橋・下笠橋右岸側には、信号がありますが、新田橋右岸側は信号がありません。これは整備されていないのと同じです。

●下笠橋~新田橋の間で、一部道路が狭く2車線が確保できていない区間がある。

などの課題がある。

意見内容

番号

●弾正公園の駐車場が不足している状況が見られる」のは、論外である。

※都市計画公園の不備と目的外使用がある。

区間③の現状の課題は、これだけですか?もっとあるのではないですか?

車のことばかり考えられていませんか?

●左岸歩行者・自転車道の浜街道・県道小島木ノ川線及び新田橋左岸の横断については、信号・横断歩道がなく非常に危険であり、子どもたちも含めて 安心して横断することができない。

※草津川橋・下笠橋右岸側には、信号がありますが、新田橋右岸側も信号がありません。これは整備されていないのと同じです。

●下笠橋~新田橋の間で、一部道路が狭く2車線が確保できていない区間がある。

などの課題がある。

(4)区間④ 35

堤防整備の方向性

●「堤防を除去した場合、桜の移植が避けられず、移植後に桜が根付く保証はありません」などは課題であり、課題と方向性が正しく整理されおらず、 ただ列記しているだけである。

(5)区間⑤ 38

土地利用の特徴

●「JR および国道横断部は、それぞれの事業者が用地を所有しています」と記載しながら、堤防整備の方向性では、「国道管理者」と記載している。困惑 を招くため適切な名称に統一する必要がある。

※事業者とは、営利などの目的をもって事業を営む者。

※この区間のJRは、JR西日本。

- ●JR草津川トンネル(6箇所)は、現在日本最長(70m)を誇り、複々線トンネルも含め、日本鉄道名所となっている。竣工年不明(明治期)ではあるが、煉瓦アーチイギリス積みで河川下トンネルとしては、日本最大。
- ●草津川隧道(国道)は、滋賀県下初の純RC隧道(ボックスカルバート風の矩形断面隧道)で、竣工年が確定している中では現役最古のボックスカルバート型RC隧道。

表面に化粧コンクリート、ピラスター風の飾りがあり、隧道上部に敷石+コンクリート補強している。教科書に載るほどである。

※RCとは、鉄筋コンクリート造のこと。

堤防整備の方向性 38

●「堤防を除去した場合、桜の移植が避けられず、移植後に桜が根付く保証はありません」などは課題であり、課題と方向性が正しく整理されおらず、ただ列記しているだけである。

(6)区間⑥ 41

現状の課題

堤防整備の方向性

●「国道 1 号およびJR 東海道新幹線付近は各管理者・・・」

※JRは事業者、国道は管理者です。

※この区間のJRは、JR東海。

3-3 43

市民ニーズの把握

1)調査の概要

●「基本方針を決めるにあたり、対象地域の現状や草津市民のみなさんのニーズおよび計画の課題を把握するため、市民アンケートを実施」されているが、市民の関心の無さが伺えるとともに今までの広報の無さを垣間見る結果となっている。

対象市民96,785人の約3.10%のアンケートで、1,019人で回収率約34.0%と低いものとなり、市民の意識の低さを感じられます。しかし、苦情や意見を云う 人が絶えないことに矛盾を感じます。

これは、アンケートの趣旨が市民に十分理解されていなかったのではないでしょうか? 再度、アンケートをするかは別であるが、通常、意見を反映するのが本意ではあるが約34.0%で、対象市民の約1.05%の意見を、草津市民の総意とは考えないで、参考意見として下さい。 このような、重大事項を私たち大人だけで決めて良いのですか?

明日の草津を担う子どもたちの意見は聞くべきではないでしょうか? 6歳~19歳の17,226人の意見を聴衆し、本事業に反映されることを強く望みます。

●2010年6月に実施されたアンケートは、速報ベースのみ公開されているが、最終集約が公開されていないので、公開して下さい。

※学識経験者や行政職員で市外の方がおられるかわかりませんが、将来その人たちや家族でも「住みたくなる、住んでみたい草津」にするためにも、アンケートなどの意見を多く聴取し、反映して下さい。

3-4 46

社会的ニーズの把握

余暇に求める楽しみ・目的の変化

●ニーズの変化ではなく、厳しい不況や低価格化のあおりなどで、健康志向を反映し、お金を掛けず贅沢に過ごしたい意向がうかがえます。 これが、登山・ハイキング・ジョキング・格安旅行に移行してきているものであり、14年前のニーズと比べる意味があるのでしょうか?

4-3 草津川跡地利用基本構想 60

1)区間①

- ●右岸の管理道路(歩道+車道)の幅が狭いので、歩行者+自転車の安全性の確保が難しく、非常に危険であり、子どもたちも含めて安心して、歩行・ 乗車できないので車道の専用化をするとともに、違法駐車ができないようにする対策が必要です。
- ●左岸歩行者・自転車道のメロン街道の横断については、信号・横断歩道がなく非常に危険であり、子どもたちも含めて安心して横断することができない ので、架橋の下を潜らす必要がある。

2)区間② 63

●右岸の歩道・自転車+車道の左右逆にし、メロン街道での左岸への容易にすることができる。また車道は、安全性と違法駐車の対策として、約50~70cm程低くすることが望ましいと考えます。

利用エリアでの設備については、環境に配慮したものとし、施設の地下には防災食品・精製水・防災備品の確保を行う。

※トイレは雨水と循環水の利用、電気は太陽熱の利用促進する。

- ●左岸歩行者・自転車道の浜街道の横断については、信号・横断歩道がなく非常に危険であり、子どもたちも含めて安心して横断することができないので、架橋の下を潜らす必要がある。
- ●山田小学校の校庭と草津川の防災エリアとのアクセスを図ることが必要である。

3)区間③ 66

- ●左岸歩行者・自転車道の県道小島木ノ川線の横断については、信号・横断歩道がなく非常に危険であり、子どもたちも含めて安心して横断することができないので、架橋の下を潜らす必要がある。右岸はこの交差点で、右側に渡す。
- ●車道は、安全性と違法駐車の対策として、約50~70cm程低くし、弾正公園入口付近から市未使用付近まで左岸側に移動させ、防災エリアと平面接続を図り拡充し、駐車場などは不正利用の対策のため、コインパーキングの導入を図る。
- 凶り協元し、『正学場などは作品利用の対策のため、コインバーインクの導入と凶る。 ※「弾正公園で不足している駐車場を整備します」は、論外であり、防災のために現状の駐車場の整備を図りますとの話であれば納得はできる。

番号

4)区間④ 69

- ●左岸歩行者・自転車道は、現状のまま残し、大江霊仙寺線は陸橋で通過させる。
- |※草津川の堤防断面の保存がされており、現在の陸橋の撤去に費用を当てて欲しくない。経費の削減。
- ●右岸側は、野村運動公園との連動性を図りフラットにし、車道は安全性と違法駐車の対策をし、駐車場などは不正利用の対策のため、コインパーキングの導入を図る。
- ※左岸を残すのは、災害・非常時に傾斜を利用して、簡易テントを張ることができるためである。

5)区間⑤ 72

- ●ここの区間の整備は大変です。歴史的遺産が豊富ですから。
- ●歴史的遺産
- ①JR草津川トンネル(6箇所)
- ※現在日本最長(70m)を誇り、複々線トンネルも含め、日本鉄道名所となっている。明治期のトンネルあり。
- 2旧街道(東海道・中山道)の渡し場
- ※五街道のうち、同宿・同河川で徒歩渡しができるのは、全国でここだけ。

京へ上る最後の渡し場。

- ③草津川隧道(マンポ)、現在のは昭和39年。
- ※明治19年3月に完成。
- ④草津川隧道(国道)(写真添付)
- ※滋賀県下初の純RC隧道(ボックスカルバート
- 風の矩形断面隧道)で、竣工年が確定している中
- では現役最古のボックスカルバート型RC隧道。
- ⑤桜並木
- ※明治43年に植えられはじめ、近隣の人々の努力によって今日があります。約500本と云われている。
- ⑥草津川とその堤防
- ※江戸初期からはじまり、江戸中期より本格的に積み上げられ今日にいたる。
- ほとんどの処は、改修などされ現存していない。
- ⑦草津川の防空壕
- ※戦時中、草津川の堤を掘って、防空壕にしたと云われている。遺構や場所は確認できていない。
- ●歴史広場エリア
- ※東海道・中山道の渡し場付近に設定して下さい。
- また、横町道標も元の位置に戻すか、歴史広場に移設して下さい。
- ●観光駐車場エリア
- ※現在の回転広場付近を拡張し、道の駅ならぬ河(川)の駅を構築して下さい。
- 機能としては、バス・一般者用の有料駐車場(割引制度導入)+電気自動車用の充電スタンド、トイレ(雨水利用の循環式+TRP)、レンタサイクル、みやげもの(草津農業高校との連携も含め草津で生産された食物・品など)、食事処、観光案内所、車イス完備、ベンチ(防災備品)、地下には備蓄庫(食料+飲料水+防災備品+汚泥減容化装置)などを備えたもので、町屋風(参考写真添付)にして下さい。
- ※太陽熱・風力、自家発電機能、防災無線(送受信)、バリアフリー、備品はユニバーサルデザインの商品の導入などが必要。
- ※川の駅は、全国で3道県10箇所であるが、構築ができれば全国初(河川の中に構築)になる。
- ※駐車場の無料化をした場合は、目的外駐車増大し地下駐車場や近隣民間駐車場の悪影響を与えないことも必要である。
- ●都市災害などの草津川跡地とのアクセス道路の整備が掲げられていますが、災害時は、自家用車などの放置により避難の際の妨げにならない工夫が必要で、堤防堤などの電力線(高圧線・低圧線など)も無くして、地中化して下さい。 ただ、この草津川跡地利用の最終形成を鑑み、区間での都市計画道路の考察も含めて「基本計画・基本設計」の中で論議しないと、区間⑤の形成をして
- も、将来に渡って崩されると何のためにやっているかわからない。関係部署・市民を混じれて協議する必要がある。 また、道路の建設にともない、河道での公園と車道での交通災害、違法駐車、不当投棄などにより、憩いを求める市民に対し、安全・安心の確保を第一
  - この区間のアクセス道路はただ単なる通過に過ぎず、ここに構築しても交通渋滞の解消にはならないと思います。
- 道路施設の導入には、周辺アクセス道路施設の整備や交通の規制・解除を鑑み、慎重に検討するし、実施や見直しを図るかを多くの市民の声を反映して下さい。
- ・・こ・。 アンケート実施の不十分さある中での基本構想(案)ですから、大人の意見だけでなく子どもたちの声も反映して下さい。

6)区間⑥ 76

優先にして下さい。

- ●栗東市との行政区域界を含む区間(約0.5km)となっており、栗東市内の右岸堤防については、栗東市の行政・住民を含めて、十分に協議して決定されることを切に望みます。
- 5-1 77

) 計画的な事業推進

- ●「基本計画・基本設計は、先行的に整備着手する区間を対象として、基本構想よりも更に具体的な内容について検討を加えるものです」と記載されていますが、基本計画・設計ができた段階で、市民へのパブリック・コメントをしていただき、実施設計に反映していただきたい。
- この計画は何年計画で目指すかわかりませんが、計画の段階的プロセスを踏んで、一定のスパンに対し毎年評価(内外部)・改善(修正)を図る必要があると考えます。
- また、社会経済情勢の変化や環境に素早く対応するためにも、第3者機関での監視をする機能を備える必要も視野に入れなければならないと思います。 スパイラルアップが発揮できる機能づくりや各関係部署との一元管理も必要と考えます。

5-2 78

継続的な検討の実施

事業推進手法の検討

市民との協働や参画

- ●基本理念の確立を行い、自治会・NPO法人・任意団体・企業・大学などのそれぞれのイデオロギーに関係なく進められる機構を備えるとともに、個人の市民や理念に賛同してくれる市外の人々も参画できる仕組みも必要だと考えます。
- また、管理の資金を捻出する必要があり、「草津川跡地管理基金」の構築も考える必要があると考えます。

民間活力の活用 79

●PFIや PPPで民間活力と資金の活用は良いですが、草津川跡地の基本理念と維持活動との連動性を図りながら、民間事業者の暴走を押さえることも 視野に入れなければなりません。

大規模空閑地の店舗の出店については、周辺住民の生活環境(交通渋滞など)を鑑み、十分に議論・検討する必要があります。

※(例) イオンモール草津・エイスクエアなどの出店で、周辺道路の渋滞と公共交通機関への悪影響でている現実を見据えて行う必要があります。

国・JR 西日本との調整 79

●国やJR 西日本との協議・調整だけではなく、JR 東海(東海道新幹線橋梁での安全面)や関西電力(高圧線・低圧線など)との協議・調整も必要となります。

※東海道新幹線橋梁付近での鉄道輸送の安全確保、防災の観点から関西電力の送電線によるへりの進入・着陸の危険性の回避が必要です。

事業の財源確保 79

●「国の補助制度等を積極的に活用するとともに、滋賀県からの支援を受けながら」とあるが、支援などを受けるためには、計画的な計画と事業展開の評価・見直し、報告が前提となりますが、この財政難の中で長期的財源の確保のプロセスを拡充するとともに、国・県からの財源確保ができずに、中止や延期などとなることのないように、想定プロセスの構築もしておく必要があると考えます。

5-3 80

実現に向けての留意事項

1)防災施設の導入検討

●都市災害において、草津川跡地とのアクセス道路の整備が掲げられていますが、災害時は、自家用車などの放置により避難の際の妨げにならない工夫が必要となるとともに、物資の拠点の制空権の障害となる電力線(高圧・低圧線)・高層マンションなどの回避が必要であり、「基本計画・基本設計」時には十分考慮する必要があると考えます。

※ヘリなどが降下できないなどのことのないようにする必要がある。

2) 観光・交流拠点としての導入施設の検討 81

魅力向上のための施設の導入検討

●観光の現状課題としては、現在の回転広場(駐車場)はあるもの、お客様から「トイレはないのか?」と云われ、草津市民センターや草津宿本陣でお願いしておりますが、お客様からはご不満のお声をいただいております。

また、草津宿本陣などの観光に対し、一般車の駐車場がないとのお声もいただいております。

※現状は、草津市役所の駐車場をお願いしております。

そして、帰る際にはお土産を購入する場所はないのかと云われる状況で、公共交通機関で来られた場合は草津駅前で、バスや一般車の場合はうばがもち(国道)・道の駅・草津SAなどでお願いしています。

また、観光客の滞在時間は、見学時間を入れて約2時間程度です。

このことから、現在の回転広場付近に、河(川)の駅の構築がする必要があります。

機能としては、バス・一般者用の有料駐車場+電気自動車用の充電スタンド、トイレ(雨水利用の循環式+TRP)、レンタサイクル、みやげもの(草津農業高校との連携も含め草津で生産された食物・品など)、食事処、観光案内所、車イス完備、ベンチ(防災備品)、地下には備蓄庫(食料+飲料水+防災備品+汚泥減容化装置)などを備えたもので、町屋風にするほうが望ましい。

※太陽熱・風力、自家発電機能、防災無線、バリアフリー、備品はユニバーサルデザインの商品の導入などが必要であると考えます。

※川の駅は、全国で3道県10箇所であるが、構築ができれば全国初(河川の中に構築)になる。

※駐車場の無料化をした場合は、目的外駐車増大し地下駐車場や近隣民間駐車場の悪影響を与えないことも必要である。

交通ネットワーク強化のための施設の導入検討 81

●「観光者や交流人口、中心市街地への来訪者の増加に対応」としているが、観光者や交流人口や来訪者の増加の試算を公表し、数値化(見える化)して 下さい。

●草津川跡地内で側壁のCRの除去は構造上不可能である場所においては、CRの上に緑のラバーシート(植物を植えられる)で覆い、ヒートアイランド現象などの解消ができ、緑の創出で安らぎができると思います。

3)環境との共生に向けた導入施設の検討 82

守る緑と創出する緑

●環境先進地を創成し、市民への環境意識の向上と自覚を促し、促進させる仕組みづくりを構築するために、雨水再利用、太陽熱、風力などの利用をしながら、学習できる場を作っていただきたい。

環境との共生をリードする場 83

●「エコミュージアム」は良いですね。滋賀県草津市の良さがでるものにしていただき、区間①は保全・学習の場で、区間②で構築していただき、最新の環境技術の導入を求めます。

人と自然とのふれあいの場 83

●周辺農家をはじめ組合などの関連団体の協力も良いが、市内の小中学校並びに草津農業高校の連帯も図ることが望ましい。

農の緑としての活用 84

展の縁としての活角 84 ●保全のプラス面とマイナス面の混在記載はやめて下さい。

市街地の物理的な分断によるアクセス問題が残るとはあるが、現状維持でマイナスにもプラスにもならないことなどが記載されていますので、しっかり分類 しないと困ります。

総合的な観点で検討するとは、いつどこの段階で検討するするのか具体化する必要がある。また、現在の理想的な形態とは何なんでしょうか?具体化して下さい。

106

番号

番号

4) 堤体の構造的な保全の検討 84

堤体保全のプラス面とマイナス面

●「基本計画・基本設計の中で詳細な調査検討」をするとあるが、基本計画・基本設計はどれだけの期間で行うのですか? 調査・検討をしないまま、 基本構想を作成されたのではないのですか? これでは絵に描いた餅ではないでしょうか。

しつかりした、プロセスを踏みながら段階てきに行わないと、市民が知らないうちに基本構想が変わっていることのないようにして下さい。

「基本計画・基本設計」が作成完了段階でのパブリック・コメントの実施を求めます。

#### 堤体保全の検討84

●「区間②~⑥において堤防上などに道路施設の導入を行います」とあるが、土地利用の基本方針(区間①~⑥)と相違するがどう云うことなのか? またこれは決定なのか? はっきりしていただきたい。ここのポイントごとの整合性がない。

区間⑤での、都市計画道路の計画があるから行うのではなく、この草津川跡地利用の最終形成を鑑み、「基本計画・基本設計」の中で論議しないと、 区間⑤の形成をしても、将来に渡って崩されると何のためにやっているかわからない。関係部署を含めて考案しないと納得できない。

5) 85

周辺関連施設の整備

草津川跡地へのアクセス路などの道路整備の検討

●商店街や地域住民だけの声をいつの段階で聴取されるのですか?また、近隣住民だけの意見での反映では困ります。

●草津川隧道(マンポ)の拡幅など記載がありますが、現状の立木神社~燦々通りまでの間で、一般乗用車の速度超過・大型車両進入(観光バスなど)・違法駐車により、高齢者・子ども・お客様(観光などの訪問者)の歩行に対し、非常に不安を与え、恐怖感から急ぎ足になり近隣の商店への訪問をあ きらめ、草津宿本陣・草津宿街道交流館・一定のお店(酒倉)・寺社の訪問で終わっています。

お客様は、平日・祝祭日に拘らず来草されていますので、せめて10時から16時までの車両の通行規制を行うべきである。

これ以上、草津川隧道の拡幅が図られれば、観光ボランティアガイドの案内がある場合は回転広場での駐車をされますが、旅行・企画会社などによ る企画で来草される場合は、本陣前まで観光バスで進入・降車される場合があり、駐車も込田公園・市福祉車車庫前、市役所バス停(違法駐車)にする など、近隣住民にも迷惑がかかっている状況もあります。

●草津川跡地へのアクセス路などを含める道路整備についても、各区間ごとに慎重に検討するし、実施や見直しを図るかを多くの市民の声を反映して下さい。アンケート実施の不十分さある中での基本構想(案)ですから、大人の意見だけでなく子どもたちの声も反映して下さい。

●区間①~⑥の道路施設の導入には、この区間の整備ではなく、周辺アクセス道路施設の整備や交通の規制・解除を鑑み、再構築をする必要がある。 運転者の心理として、「新しい道を通りたい」などがあり、大江霊仙寺線が開通したが、湖南幹線の渋滞も解消されず、逆に大江霊仙寺線への渋滞が 蔓延しています。

また、大型店舗への流入道路への渋滞も蔓延し、近隣道路に悪影響を及ぼしている。

草津川跡地へのアクセス路などの道路整備の検討 85

●道路施設の整備もいいが、公共交通機関のアクセスの充実も図る必要もある。

民間会社による運行本数の減少や乗車人数の現象も進んでいて、まめバスの有料により乗車人数の減少が進み、徒歩や自家自動車の導入でアクセスポイントへの移動に使われているため、渋滞における公共交通機関の遅れが発生している。

#### 周辺施設との一体整備の推進 85

●宅地造成も良いが、造成して一般業者(市内業者)に売却するのか、建設してリースで収益(委託)を上げるのかも含めて検討する必要とともに、市内の 公共施設の充実も計らう必要がある。

※草津市民センター(駐車場)、人権センター(施設の老朽化)などの連動する必要がある。

6) 86

コスト縮減の検討

暫定活用との整合

●「これまでの草津川跡地は、地域住民の方々による暫定活用や周辺住民の方々のご協力によって、継続的に維持管理・・・」など、この項目での地域 住民は、市民にするべきである。

※地域住民・周辺住民・市民の使い分けをして下さい。

#### 運土収支計画 86

●「処分費用が安くなるよう農地の客土等への活用」とされているが、砂を売却すれば運土収支はできるはずである。

何故、運搬費用をかけて、資産を無料配布(処理)するのですか?

農地の土壌改良使う場合にも、畑などに限定されてきます。

場所によっては良質な砂がありますので十分検討して下さい。資産の無料処理は駄目です。処分費用を払って、一般業者に処理させるのではなく、市内の公共施設の運動場、高・中・小学校の運動場への活用も検討し、少ない公費で資産の有効活用を模索して下さい。

#### 民間資本の活用 86

●PFIやPPPなどの手法で、民間資本の活用は良いですが、地元の企業やベンチャー企業などを優先的し、民間だけに頼らず資産の有効活用と工夫により、収益を上げるコンセプトを構築し、将来に渡って、跡地の管理費用へ有効利用するためにも、 「草津川跡地管理基金」と収益財源での運営を賄う必要がある。

8)栗東市との調整 86

●栗東市の計画との整合を図るために、全体基本設計の中で有意義に活用されるように強く望みます。

また、栗東市の計画も公表して下さい。

## ●最後に

●「基本計画・基本設計」が作成段階で、様々な項目で調査や市民への意見聴取をし、検討されますが、くれぐれも一般業者に作成を任せず、市民が 親しみある草津川の跡地の構築と行政職員の親身ある対応をしていただきたい。

また、作成された資料は全て公開して、市民のみなさんとともに考え・理解を得て、市民が草津川跡地の利用に参画している自覚を持たす工夫もして下さい。

当たり前のことを当たり前と思わず、専門用語も極力少なくして下さい。

| 当たり前のことを当たり前とぶわり、等日用品も極力多ないと下さい。 |今回の基本構想(案)の資料の中で、草津市草津川廃川敷地土地活用検討委員会で提示されていないものがあると云う流言飛語が出ている。信頼・信用 |を失わないようにし、共に考え行政主導型にならないように、円滑に進めていただきたい。

※パブリック・コメントに関する、閲覧データ(アンケート・検討委員会議事録・提示資料など)は、同一Web上で閲覧できるよう今後して下さい。

以上

#### ③音目仝立「昔津川跡地利田其太楼相(家)に対するパブリックコメント提出音目)

③意見全文〔草津川跡地利用基本構想(案)に対するパブリックコメント提出意見〕	
意見内容	番号
私は、旧草津川沿いのマンションに結婚以来28年暮らしております専業主婦です。 あと半月もすると、桜が咲き、毎年8階の我が家のベランダからは美しいピンク色が飛び込んで来るとともに、沢山の方がこの桜の下に集う微笑ましく暖かい季節がやってまいります。 草津川に水がなくなってから数年が経ち、ベランダでお洗濯物を干しながら、時折この川の跡地はどうなるのだろうかと思っていたところ広報でそのことについてのコメントが出ていたので、パソコンで草津市のHPを開けてみました。 一番身近な自分の住んでいる地域を見てみましたが、知識不足の私には図面が読みづらくよくわかりませんが、川底には道路が出来るという案が出ているのでしょうか? 広報のパブリックコメントを読む限りでは、みどりと自然を大切に・・・という内容で、その中に道路を作る構想があるなどということは読み取ることは出来ず、想像もつかなかったので、大変驚いております。 私の住むあたりは、土手も取り除かれるのでしょうか? 春になると、毎年この旧草津川沿いには美しい桜が咲き、その季節には朝から夜まで人々がその桜の下を行きかい、集いあって憩いの場になっております。その憩いの場のすぐそばには、水がなくなったとしても、人々がゆっくり集えるような広場や公園がふさわしく思われます。	107
てい思いの場のすくではには、水がなくなったとしても、人々がゆうくり集えるような広場やな園がふさわしく思われます。 また、みどりや自然を重んじる広報のパブリックコメントを読む限りでは、全ての地域でそういう類の施設のみが出来るものと勝手に解釈してしまいました。 もし、私が見た図面の解釈が間違っていなければ・・・のお話ですが私の周りの者やマンションの方に尋ねてみても、川底が「道路」になるという考えはありませんでしたし、そういう構想もあるということも知らない者ばかりです。 「道路」構想も含めて、今一度その辺の構想を、誰もが理解しやすい方法で明確に、市民、特に旧草津川沿いの住民にはっきりした説明をした上で、果たしてそれでいいのか広く意見を求めていただきたいと思います。	
78 1 現在、草津学区をはじめとする各学区では、協働のまちづくりに向けた取り組みとして、まちづくり協議会の活動および、協議会設立に向けた検討をされている段階である。このまちづくり協議会は、跡地の継続的な利用や維持管理の一端を担っていく組織である。	
草津川の跡地利用は草津川廃川敷地土地活用検討委員会で検討されてきたものの、協議会としての意見は抽出出来ておらず、跡地利用を考える上では協議会の協力を得ることが必要不可欠なものであると考える。そこで、現在の基本構想では事業の推進手法として維持管理を担う市民団体・大学・市民(仮称草津川跡地利用連絡調整会議)などを対象とする、管理運営手法の勉強会が主となっているが、推進手法の中に基本計画や基本設計に、まちづくり協議会をはじめとする市民団体・大学・市民(仮称草津川跡地利用連絡調整会議)の意見を反映できる機会を設けるべきと考える。	108
今回の地震を見て、この地に防災対策として、道路と広場は両方必要だと確信しました。旧草津川跡地を、歴史や景観を活かし、にぎわい・活性化すること、また、防災機能を強化することを目的とされたこの計画を読みました。いい計画ですね、現在、草津駅周辺は、南草津の活気にくらべ、下降気味で元気がありません。この原因は、社会の仕組みや時代の背景もあるでしょうが、そこに住む住人や土地を持っている所有者にも原因があるのではないでしょうか。駅前の商店街など便利な場所に住んでいる人、権利を持つ者は、ただ住むだけでなく、社会のために貢献する義務を持っているのです。もっとまちづくりに積極的に取り組まないと、草津駅前は衰退するばかりですよ。行政として、草津駅周辺の衰退をとどめる施策として、草津川跡地を利用し、まちづくりに取り組まれようとするこの計画は、草津の未来を切り開くものと思います。この構想を進める上で、注意してほしいのは、近隣住民の意見だけに流されてしまうことです。近くに住んでるから、便利な空き地がほしいとか、道路いらないとか、無責任な意見でこの計画をだいなしにしてしまうことです。この土地は、県から時価相場で買うらしいですね。時価相場というのは、通常の土地の値段のことですよね。宅地と同じ、市民の税金を周辺住民のためだけに使うのはもってのほかです。 草津市民全体のためになるように、将来の草津の賑わいや発展に寄与するように計画にしてほしいのです。ただの空き地にお金は使わなくていいし、ただの広場に入は集まりません。住民以外にも来ていただけるようにぎわいを創出してください。(そうしないと夏のグラウンドです・・・だだっぴらいが、誰もいない)にぎわいを創出するには、跡地におしゃれなお店も必要でしょう。環境に良い道路や安全な歩道も必要でしょう。ぜひ、人が集まるように計画を進めてください。また、国道1号線のトンネルは、地震に耐えられるのですが、マもう川はないのです。平地化して歩道を広げましょう。そこから草津川の防災広場につなげましょう。 3 路は人の命、上手に市民のために使い、よりよい草津のまちにしてください。最後に、草津駅東口の活性化は周辺住民だけのためではないのです。草津市民全体が喜べるよう、にぎわいや活性化する施策をお願いします。	109
私は、1児の子どもを持つ渋川地区に住んでいる主婦です。 本日、大路学区のママ達が話しているのを聞いて私とは違う意見でしたので、一市民でこんな考え方を持つ人もいるのだなと思っていただくだけで、結構です	
ので聞いてください。 大路地区では、草津川の跡地に道路ができれば排気ガスや事故が多発して困るという風に話しておられましたが、現在、渋川地区ではそのような状態にあります。休日には、国道に出るにも一苦労。家の前の道では毎週末といっていいほどの事故があり、一時も子どもから目が離せません。クラクションが鳴り響き、排ガスも充満しています。しかし、私たちは、交通の便利さで今のところに住んでいます。今、草津市は京阪神のベットタウンとして大変人気があります。そのために、徐豊かな公園や静かな環境はとりあえず老後ということで、夫の通勤の便利の良さとして草津市を選びました。ですので、今の状態は覚悟はしていましたが、大路学区のママ達は、便利プラス緑豊かな公園もまるで自分たちだけが払った税金で公園を造られることが当然のように話されているのを聞いてなんだか腹が立ちました(周りの渋川学区のママ達は同じ意見です)。私も同じように税金も払っているし、子どももいます。子どものために安全で緑いっぱいの公園を渋川地区にも造ってほしい…というのが本音ですが、便利なところで暮らしている以上、何かをあきらめなければならないと思っています。緑豊かで、文化遺産を残していく事は素晴らしいことですが、これだけ、人口も増えた今、それだけでよいのでしょうか?草津は昔から交通のかなめとなっています。だからこそ、交通の整備が必要なのではないでしょうか?人口減少になってからでは税収が見込まれず、道路を造ることさえままならなくなるのではないでしょうか?大きな地震が起こったら?逃げる道は確保されているのでしょうか?本当にただ、愚痴を書いてしまいましたが、未来のために地元の人の意見、地元以外の人の意見を聞いていただいて、草津市全体にプラスになるように考えてください。いろんな意見があって大変だと思いますが、事務局の方を始め、検討委員の皆さま、がんばってください。	110

意見内容	番号
草津川の跡地は海津大崎みたいな桜の通り抜けができる道(車で)がいいです。 観光も増えると思います。	111
草津川跡地基本構想 交通機能(車道) P2 中段 天井川跡地に道路ができることを構想委員の方より聞きました。 道路の建設を反対いたします。	112
道路が出来るようですが自然を重視した公園等を造っていただきたいと思います。	113
計画を再考すべき ・緑地の整備や防災機能の強化と車道は並行して考えられるものではないと思う。 ・草津、特に駅から近い所に緑の林、いこいの場所がない。これだけ、マンションが建てられたからには、それに相当する大きな空間(緑のスペース。災害時の為 にも空間が必要であり、市民が憩える場所があればと切望します。 それを思えば、草津川跡地に車道が出来て車が通るなど、考えられません。	114
旧草津川利用について 河底を道路利用については賛成でありますが、国道1号線の平面交差については疑問を持っています。 ① 天然の立体交差を廃止してまで実行する事自体おかしい。 ② トンネルが低いと意見があるなら、2mほど高くしてでも残すべき。 ③ 計画の道路では坂を上って交差点に入るため燃料の無駄使い。 ④ 道路は別紙のようにすべし。	115